

MDV-D708BTW MDV-D708BT

AV Navigation System

取扱説明書 保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

Made for

iPhone | iPod



当社は日本オーディオ協会の
ハイレゾ定義に準拠した製品
にこのロゴを冠して推奨して
います。ロゴは登録商標です。



My-Kenwoodのご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。
下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwood をご利用ください。
<https://jp.my-kenwood.com>

目次

はじめに

安全上のご注意.....	4
使用上のご注意.....	7
説明書について.....	9

基本的な使いかた

各部の名称とはたらき.....	10
電源のオン/オフ.....	12
電源をオンにする.....	12
電源をオフにする.....	12
フロントパネルの操作.....	12
メニューの切り替え.....	13
カスタムメニューの使いかた.....	13
カスタムメニューに機能を登録する.....	14
サブメニューの使いかた.....	14
USB機器の接続のしかた.....	15
USB機器を接続する.....	15
USB機器を取り外す.....	15
iPodの接続のしかた.....	15
iPod/iPhoneを接続する.....	15
iPod/iPhoneを取り外す.....	15
Bluetooth機器の登録・接続のしかた... 16	
地図の見かたと操作.....	17
現在地図の見かたと操作.....	17
地図のスクロールのしかたと見かた.....	18
2画面表示のしかた.....	19
ショートカットボタンの使いかた.....	21
目的地までのルートの作りかた.....	22
ルート案内地図の見かた.....	24
一般道路のルート案内.....	24
高速道路のルート案内.....	24
ルート案内の中止のしかた.....	25
AVソースの切り替えかた.....	25
AVソース画面と現在地図画面の 切り替えかた.....	26
AVソースの操作のしかた.....	26
DISCソースの操作例.....	26
K2テクノロジーについて.....	27
USB/SDソースの操作例.....	27
FMソースの操作例.....	27
映像表示に操作ボタンを表示する.....	28
地デジの操作.....	28

ナビゲーションの便利な機能

ルート編集のしかた.....	30
自宅/地点の登録のしかた.....	30
地点情報の編集のしかた.....	31

AVの便利な機能

音楽CDの録音のしかた.....	32
録音設定をする.....	32
画質の調整のしかた.....	33

情報の見かた/設定のしかた

情報・設定の使いかた.....	34
ナビ設定.....	34
サウンド設定.....	36
システム設定.....	37
外部機器設定.....	38
MapFan連携設定.....	39
接続状態の確認のしかた.....	40
MapFanアシストについて.....	41
言語の切り替えかた.....	41
使用履歴の消しかた.....	41

ハンズフリー通話のしかた

電話のかけかた.....	42
電話の受けかた.....	43

別売品の使いかた

別売品について.....	43
ドライブレコーダーの使いかた.....	44
ドライブレコーダー（リア用）DRV-R530の 接続設定.....	44
ドライブレコーダー映像の表示のしかた.....	45
ドライブレコーダー画面の見かたと使いかた... 録画ファイルの再生のしかた.....	45
リアビューカメラの使いかた.....	47
リアビューカメラの設定のしかた.....	47
リアビューカメラの表示のしかた.....	48

ETC車載器/ETC2.0車載器の 使いかた.....	49
ETC2.0車載器の接続設定のしかた.....	49
ETC車載器またはETC2.0車載器の 表示設定について.....	50
信号情報活用運転支援システム(TSPS)による 信号情報案内について.....	50



付録

地図更新について.....	51
開通した道路情報の更新について.....	51
KENWOOD MapFan Clubを利用して 地図を更新する.....	51
スマートフォン連携について.....	52
自車位置の測位精度について.....	53
地図記号の凡例.....	55
地図のデータベースについて.....	56
iPodについて.....	56
Bluetoothについて.....	57
メディアおよびファイルについて.....	58
ソフトウェア使用許諾契約書.....	60
VICSについて.....	62
故障かなと思ったら.....	64
特許権/著作権/商標など.....	70
主な仕様.....	72
保証とアフターサービス.....	74
保証書.....	76




安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

取り付けや配線について

警告



本機はDC12V ⊖アース車以外で使用しない

火災や故障の原因になります。DC24V車（大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など）で使用しないでください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしてない

エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

交通事故やケガの原因となります。

フィルムアンテナは保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない

視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術者が必要です。誤った取り付けや配線をすると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。

作業前に必ずバッテリーの⊖端子を外す

外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

**コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する**

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

パーキング検出（サイドブレーキ）コードは正しく配線する

正しく配線しないと安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

 **注意****自動車のコンソールに取り付ける**

本機の使用申中または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。

**直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない**

機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

**コードの扱いに注意する**

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について **警告****分解・修理および改造はしない**

分解・修理、改造、コードの被覆を切つて他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

**音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない**

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

**雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない**

落雷による感電の原因となります。

**ルート案内中でも実際の交通規制に従って走行する**

ナビゲーションのルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご依頼してください。

 **注意****本機を車載用以外で使わない**

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

**可動部やディスク挿入口に手や指を入れない**

モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ **警告****異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する**

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、本書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。

安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオなどの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」(P.64)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

傷が付いたり文字が消えることがあります。

フィルムアンテナのお手入れ

● フロントウィンドウの内側を清掃する際には、フィルムアンテナを柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布を固くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

● 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

オートアンテナ(電動アンテナ装備車)の操作について

車両側のアンテナコントロール端子と本機のアンテナコントロール(ANT CONT)端子を接続しているときは、本機の電源をオンにするとオートアンテナが伸びます。天井の低い駐車場に入る場合などオートアンテナを下げたいときは、オートアンテナをしまってください。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出る場合があります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいたることがありますが、故障ではありません。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、販売店へ連絡してください。

ナビゲーションについて

● 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくするとGPSの測位により正しく表示されるようになります。

● 走行中は、安全のため、一部を除く細街路*は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。

- 細街路を走行中の現在地図画面
- 市街地図を表示しているとき
- マップマッチングしていないとき
- 駐停車中

*: 細街路とは、幅員 5.5m 未満の道路のことをいいます。

フロントパネルの安全装置について

パネルの隙間にコードなどの異物を挟んで閉じたときは、安全装置がはたらき、フロントパネルの動作が停止します。この場合は異物を取り除いてから、再度操作してください。

本機にメモリーされた個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合などには、本機に記録された情報（例：登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。

消去は、「システムの初期化」（P.37）で行うことができます。

なお、次のデータや設定は「システムを初期化する」では消去できません。個別に消去／解除してください。

● 暗証番号の解除

● 内蔵メモリ/SDカードに録音したデータ

当社では未消去のデータの流出による損害等について、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

当社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンター（裏表紙）までご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。

したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また本機は、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

● 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。

3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

● 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4 FH 1

2.4：2.4GHz帯を使用する無線機器です。

FH：FH-SS変調方式を表します。

1：電波干渉距離は10mです。

：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約10mです。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

説明書について

説明書の構成について

本製品の説明書は、以下のように提供しています。

● 取扱説明書（本書）

本機の基本機能の操作説明をしています。また、本機を安全にご使用いただくためのご案内や、故障と思われるような場合の解決方法などを説明しています。

● 取付説明書

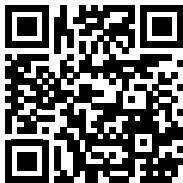
本製品に同梱されている車両への接続や取り付け方法を説明しています。別売品との接続方法についても説明しています。

● ユーザーズガイド

本機をより使いこなせるように、いろいろな機能の操作方法について詳しく説明しています。ユーザーズガイドは、スマートフォンやタブレット、パソコンなどで、以下にアクセスして読むことができます。（通信費はお客様のご負担となります）

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi>
で型名と必要なユーザーズガイドを選んでご覧ください。

- ユーザーズガイド<統合版>
- ユーザーズガイド<はじめに>
- ユーザーズガイド<基本操作>
- ユーザーズガイド<ナビゲーション>
- ユーザーズガイド<オーディオ・ビジュアル>
- ユーザーズガイド<情報・設定>
- ユーザーズガイド<Bluetooth>
- ユーザーズガイド<スマートフォン連携>
- ユーザーズガイド<オプション>
- ユーザーズガイド<付録>



本書について

● 本書の画面や操作例は、操作説明用に作成したものです。仕様変更などにより、本書の内容と実際の画面が異なる場合があります。

● フロントパネルのボタンは以下のように表しています。

例 **現在地/AV**：現在地/AVボタン

● 画面に表示されるボタンは以下のように表しています。

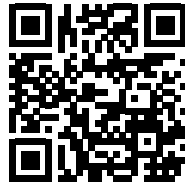
例 **ソース切替**：ソース切替ボタン

本機のサポート情報を役立てよう！

● 本機の最新情報はこちら

ファームウェアのバージョンアップ情報や地図更新など本機の最新情報を掲載しています。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi>



● FAQ（よくあるご質問）

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。

本書の「故障かなと思ったら」と合わせてこちらでもご覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq>



はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた/
設定のしかた

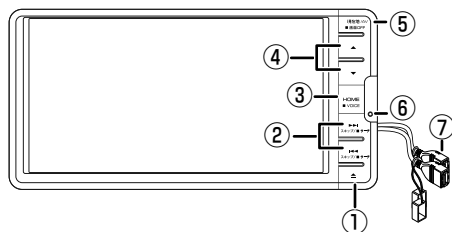
ハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

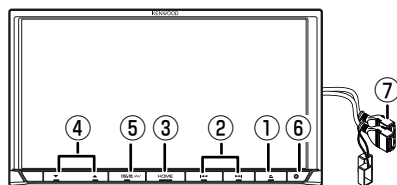
付録

各部の名称とはたらき

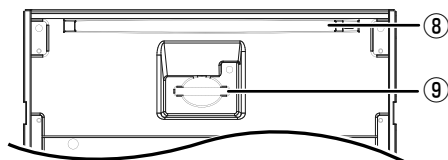
MDV-D708BTW



MDV-D708BT



パネルオープン時



番号	名称	はたらき
①	(オープンキー)	フロントパネルの角度や、ディスク、SDカードを出し入れするためのメニューを表示します。→「フロントパネルの操作」(P.12)
②	(スキップ/サーチキー)	<ul style="list-style-type: none"> • 聞いている曲やビデオ、ファイル、チャプター、放送局、お気に入り登録済みチャンネルを切り替えます。 • 押し続けると聞いている曲、ビデオを早戻し/早送りし、FM/AMでは受信状態の良い放送局を探します。
③	HOME	<ul style="list-style-type: none"> • ホーム画面を表示します。 • 押し続けると接続しているスマートフォンの音声認識機能が起動します。
④	(音量キー)	<ul style="list-style-type: none"> • AVの音量 (0 ~ 40) を調整します。 • ハンズフリー通話中は、着信音量と受話音量 (0 ~ 40) を調整します。
⑤	現在地/AV	<ul style="list-style-type: none"> • 現在地画面を表示します。 • 現在地表示中に押すと、AV画面を表示します。 • 押し続けると、画面表示をオフにします。
⑥	セキュリティインジケータ	電源がオフになると点滅します。(セキュリティインジケータ設定ON時)
⑦	USB端子	USB機器やiPhone/iPodを接続します。
⑧	ディスク挿入口	ディスクを挿入します。
⑨	SDカード挿入口	SDカードを挿入します。



- を押し続けて連続で上がる音量値は15までです。
- 案内音声の音量は、ナビ設定で調整します。→ [案内音声の音量] (P.35)
- ハンズフリー電話の着信音量と受話音量は、「外部機器設定」(P.38)でも調整できます。

はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた/
設定のしかた

ハンズフリー電話
のしかた

別売品の使いかた

付録

電源のオン/オフ

電源をオンにする

車両のエンジンをかける。
(イグニッションキーをACCまたはONにする。)

電源をオフにする

車両のエンジンを止める。
(イグニッションキーをOFFにする。)



- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときや、バッテリーを交換した場合などには、測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。
- 使用状況や電源電圧の変動などによって、本機の取り付け後に初めて電源をオンにしたときと同じ状態になる場合があります。
- ルート案内の途中で電源をオフにしてもルートは消去されません。次に電源をオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。
- 録音中は電源をオフにしないでください。録音を停止してから電源をオフにしてください。

フロントパネルの操作

フロントパネルの角度調整やディスク、SDカードの出し入れをします。

1 (オープンキー) を押す

パネルコントロール画面が表示されます。

2 操作する項目をタッチする



番号	機能
①	フロントパネルの角度調整 選択した角度になります。
②	視野角の調整 フロントパネルの角度を調整しても画面が見え難い場合に調整します。

番号	機能
③	ディスクの出し入れ <ul style="list-style-type: none"> フロントパネルが開き、ディスクを入れるようになります。 ディスクを入れると、自動的にフロントパネルが閉まります。 ディスクが入っているときは、ディスクが出てきます。
④	SDカードの出し入れ <ul style="list-style-type: none"> フロントパネルが開き、SDカードの出し入れができるようになります。 SDカードを入れるときは、奥に突き当たるまで挿入します。 SDカードを出すときは、奥まで押し込んでから取り出します。



- フロントパネルが開いているときは、音量以外のボタンを押すと閉じます。このとき、閉じる動作中のパネルに触ると、閉じる動作は中止し、開く動作をします。
- フロントパネルが開いているときに電源がオフになると、フロントパネルは自動的に閉じます。ただし、挿入口にディスクがある場合は閉じません。
- フロントパネルを開いたまま走行しないでください。フロントパネルを開いたまま走行すると、衝突時にけがをする原因となります。安全のため、フロントパネルを閉じてください。

メニューの切り替え

ホーム画面を表示させて、いろいろなメニューや機能画面に切り替えます。

1 [HOME]を押す

HOME画面が表示されます。



番号	表示するメニュー / 機能画面	参照先
①	言語切替画面 表示言語を切り替えます。	P.41
②	情報・設定メニュー 情報表示、各種設定をします。	P.34
③	案内終了画面 ルート案内を終了します。	P.25
④	ルート編集画面 ルートの編集をします。	P.30
⑤	ソース切替画面 AVソースを切り替えます。	P.25
⑥	カスタムメニュー よく使う機能、設定の登録、呼び出しをします。	P.13
⑦	目的地検索メニュー 目的地を検索します。	P.22
⑧	VOIPUT画面 音声で目的地や楽曲を検索します。	P.52
⑨	サブメニュー 画面の明るさや画面オフ、ユーザー切り替えなどをします。	P.14
⑩	電話メニュー ハンズフリー通話をします。	P.42
⑪	ドライブレコーダー画面 ドライブレコーダーの再生、設定をします。	P.44

カスタムメニューの使いかた

よく使う機能やよく使う設定を登録して呼び出します。

1 ホーム画面の**カスタムメニュー**をタッチする



カスタムメニュー画面が表示されます。

2 呼び出す機能が登録されているボタンをタッチする



はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた /
設定のしかた

ハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

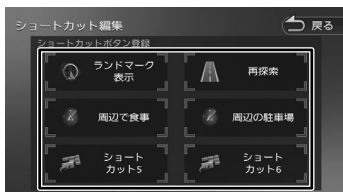
付録

カスタムメニューに機能を登録する

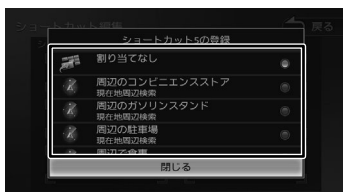
1 カスタムメニューの**編集**をタッチする



2 登録したいボタンをタッチする



3 登録したい機能をタッチする



サブメニューの使いかた

画面の明るさや画面オフなどの操作をします。

1 ホーム画面の**サブメニュー**をタッチする



サブメニュー画面が表示されます。

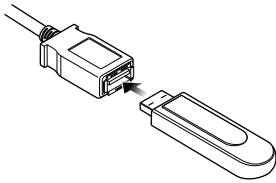
2 操作する項目をタッチする



番号	機能
①	画面の明るさ調整 画面の明るさを調整します。
②	画面表示のオフ設定 画面の表示をオフにします（消します）。画面表示がオフ中は時計が表示されます。表示をオンにしたいときは、画面をタッチします。
③	アンテナを伸ばす/しまう オートアンテナを伸ばす、しまう操作をします。 [オートアンテナ] (P.37) の設定が“あり”のときに表示されます。
④	ユーザーの切り替え 使用するユーザーに合わせて、以下の設定の切り替えをします。 <ul style="list-style-type: none"> 音量設定（音声案内、着信、受話、Bluetooth音質調整のマイクゲイン） 地図表示の設定（地図の向き、縮尺、ランドマーク） ユーザー登録地点 目的地検索履歴 マイルルートアジャスター

USB機器の接続のしかた

USB機器を接続する



本機の背面から出ているUSBケーブルに接続します。



- USBケーブルが見当たらない場合はグローブボックスなどに配線されていないか確認してください。

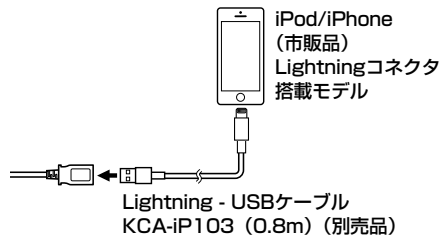
USB機器を取り外す

AVソースをUSB以外に切り替えてからUSB機器を取り外します。

USBソース選択中に取り外すと、USB機器のデータを破損する場合があります。

iPodの接続のしかた

iPod/iPhoneを接続する



本機の背面から出ているUSBケーブルに接続します。
Bluetoothで接続する場合は、「Bluetooth機器の登録・接続のしかた」(P.16)を参照してください。



- USBケーブルが見当たらない場合はグローブボックスなどに配線されていないか確認してください。

iPod/iPhoneを取り外す

AVソースをiPod以外に切り替えてからiPod/iPhoneを取り外します。

iPodソース選択中に取り外すと、iPod/iPhoneのデータを破損する場合があります。

Bluetooth機器の登録・接続のしかた

本機にスマートフォンなどのBluetooth機器を登録（ペアリング）、接続して、ハンズフリー通話やBluetoothオーディオの再生ができるようにします。

- 1 登録するBluetooth機器のBluetooth機能をオンにする
- 2 Bluetooth機器に表示されるデバイスリストから以下の製品名のいずれかを選択する
 - MDV-D708BTW
 - MDV-D708BT
- 3 本機とBluetooth機器に表示されるデバイス名とパスキーが同じか確認する



- Bluetooth機器にPINコードの入力画面が表示されたときは、本機に表示されているPINコード（初期設定「0000」）をBluetooth機器に入力してください。

PINコードが本機に表示されない場合は、本機のPINコードを「外部機器設定」の[PINコード]（P.38）で確認して入力してください。

- 4 使用する機能にチェックマークを付けて、**はい**をタッチする



チェックマークは、タッチするたびに表示/非表示になります。

ハンズフリー 1:

- ハンズフリー通話用機器1として接続します。

ハンズフリー 2:

- ハンズフリー通話用機器2として接続します。

オーディオ/アプリケーション連携:

- Bluetoothオーディオ用機器、カーナビ連携アプリケーション用機器として接続します。

電話帳登録:

- ハンズフリー通話用機器の電話帳を読み込みます。

Bluetoothデザリング:

- MapFanアシストでBluetoothデザリングをします。→「MapFanアシストについて」（P.41）



Bluetooth機器の登録と接続が始まります。
登録と接続が完了すると、本機の画面にBluetooth接続アイコンが表示されます。



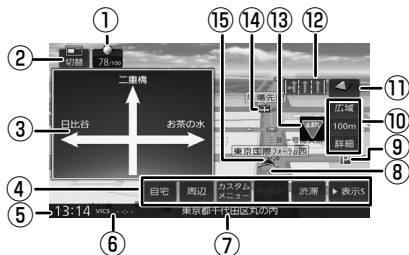
- **Bluetoothデザリング**は、「外部機器設定」の[Bluetoothデザリング]（P.38）が“ON”に設定されているときに表示されます。

地図の見かたと操作

現在地図の見かたと操作

1 現在地/AVを押す

現在地図が表示されます。



番号	表示 / 機能
⑬	一時停止情報がある交差点の手前で一時停止アイコンが表示されます。→「一時停止の表示」(P.35) また、日没時間や夜間にライトが点灯していない場合は、案内アイコンまたは警告アイコンが表示されます。→「システム設定」(P.37)
⑭	方面看板(イラスト)の案内地点、またはレーン情報(イラスト)の案内地点が表示されます。
⑮	現在地が表示されます(自転車マーク)。自転車マークをタッチすると現在地周辺の地図が拡大表示されます(ワンタッチルーペ)。

メモ

- ワンタッチルーペができる地図の縮尺は65m～650m未満です。
- 細街路(幅員5.5m未満の道路)は、駐車中、細街路走行中、または市街地図を表示中に表示されます。
- ③方面看板、⑫レーン情報、⑮ワンタッチルーペは、表示されないように設定ができます。→「ナビ設定」(P.34)

番号	表示 / 機能
①	エコ情報が点数で表示されます。
②	タッチするたびに地図の上に表示される子画面の種類が切り替わります。→「2画面表示のしかた」(P.19)
③	方面看板が情報のある交差点に近づくと表示されます。タッチすると消えます。
④	→「ショートカットボタンの使いかた」(P.21)
⑤	現在の時刻(24時間制)が表示されます。
⑥	表示しているVICS情報の提供時刻が表示されます。
⑦	現在の自転車位置の情報が表示されます。
⑧	走行した軌跡が水色の点で表示されます。軌跡は表示しないように設定できます。また、消去もできます。→「ナビ設定」(P.34)
⑨	施設の目印(ランドマーク)が表示されます。
⑩	広域 / 詳細 にタッチすると地図の縮尺を変更し、現在の縮尺値を表示します。また、縮尺値にタッチするとスライダーによる縮尺の変更ができます。
⑪	地図の方位が表示されます。また、タッチする毎に地図の表示方法が切り替わります。
⑫	次の交差点のレーン情報が表示されます。

■ ゾーン30エリアの表示について

ゾーン30エリアとは、歩行者や自転車の安全な通行を確保するために、時速30キロの速度規制を実施しているエリア(区域)のことです。



縮尺が300m以下のときに地図上に青紫色で表示されます。

メモ

- 気象・災害情報エリアと重なった場合は、気象・災害情報エリアの表示が優先されます。
- ゾーン30エリアは、スクロール地図にも表示されます。

はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた / 設定のしかた

ハンズフリー通話のしかた

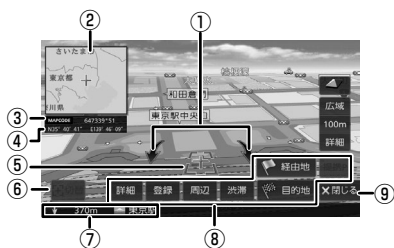
別売品の使いかた

付録

地図のスクロールのしかたと見かた

地図をスクロールするには、3通りの方法があります。

- 1 ● **画面をタッチする**
タッチした場所が画面の中央になります。タッチし続けるとタッチしている方向にスクロールします。
- **ドラッグする**
画面をタッチしたまま指をスライドする。
- **フリックする**
画面をタッチしたまま指をはらう。
スクロール地図が表示されます。



番号	表示 / 機能
⑧	以下の操作ができるボタンが表示され ます。 提携P ：カーソルの地点にある施設に提 携駐車場の情報がある場合は、提携駐車 場を目的地に設定できます。 目的地 / 経由地 ：カーソルの地点を目的 地/経由地に設定します。 渋滞 ：VICIS情報画面を表示します。 周辺 ：周辺の施設を検索します。 登録 ：カーソルの地点を地点登録します。 →「自宅/地点の登録のしかた」(P.30) 詳細 ：カーソルの地点の詳細情報を表示 します。
⑨	⑧のボタンを消します。 もう一度押すと表示されます。



- 施設名称や住所、電話番号などの詳細情報は、本機のデータベースから取得できた場合に表示されます。
- 走行中は詳細情報の名称のみ表示されます。
- 周辺検索したときに営業時間外の施設は「！」マークが表示されます。(営業時間情報がデータベースに無い施設は表示されません)

番号	表示 / 機能
①	地図が回転します。(地図が3D表示のときに表示されます)
②	スクロールした地点が広域地図(フライビューマップ)で表示されます。フライビューマップは表示しないように設定できます。→ [フライビューマップ表示] (P.34)
③	マップコードを表示することができます。→ [マップコード表示] (P.35)
④	緯度・経度を表示することができます。→ [緯度・経度表示] (P.35)
⑤	スクロール地図の中央に表示(カーソル)されます。
⑥	カーソルの地点に複数の地点情報がある場合にタッチすると地点情報が切り替わります。
⑦	カーソルの地点の地点情報(住所や名称など)と現在地までの距離と方向(矢印)が表示されます。

2画面表示のしかた

現在地図に、異なる縮尺の地図子画面や、AV子画面、INFO子画面を表示することができます。

1 切替をタッチする



タッチするたびに①～③の順に子画面を表示します。

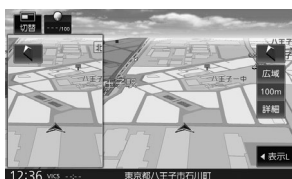
① 地図とAV画面

現在地図の上にAV子画面を表示します。



② 地図2画面

現在地図の上に異なる縮尺の地図子画面を表示します。



③ 地図とINFO画面

現在地図の上にINFO子画面を表示します。



もう一度、**切替**をタッチすると子画面が消えます。

■ 子画面のサイズ調整のしかた

子画面はサイズを調整できます。

1 子画面表示内をフリックする

● 小画面を中画面にする



● 中画面を全画面にする (AV子画面、INFO子画面のみ)



● 中画面を小画面にする



■ INFO子画面の見かた

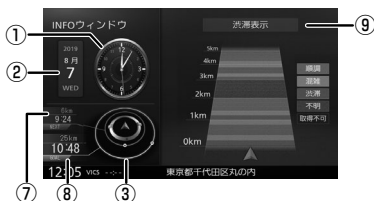
● INFO小画面



● INFO中画面



● INFO全画面

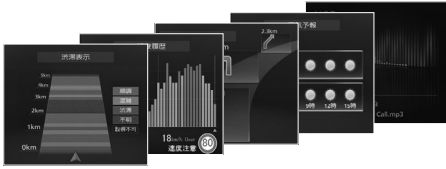


番号	表示 / 機能
⑥	カーナビ連携アプリケーション「KENWOOD Drive Info.」と連携しているときに天気予報が表示されます。 (→ P.52)
⑦	次の経由地までの距離と到着時刻が表示されます。
⑧	目的地までの距離と到着時刻が表示されます。
⑨	渋滞情報、速度履歴、再生中の曲情報や次の曲情報などの情報が表示されます(情報表示切替エリア)。 → 「情報表示切替エリアの表示項目」(P.21)

番号	表示 / 機能
①	現在時刻が表示されます。
②	カレンダーが表示されます。タッチすると1か月分のカレンダーを表示します。
③	<p>目的地 (緑色) 次の経由地 (青色) 自車位置からの目的地の方向 (赤点) 次の経由地 (青色) を除いた残りの経由地の数を円で表しています。(水色) 自車位置からの次の経由地の方向 (赤点)</p>
④	車のおおよその速度が表示されます。実際の速度表示とは異なります。
⑤	ECOドライブ評点が表示されます。

■ 情報表示切替エリアの表示項目

INFO全画面の情報表示切替エリア(⑨)に表示される項目は以下になります。
表示の切り替えは、[INFOウィンドウの画面切替](P.36)で設定します。(お買い上げ時は10秒ごとに自動で切り替わります)



● 渋滞表示

現在地から一般道では最長5km先、高速道路では最長20km先までの渋滞情報を色で表示します。

● 速度履歴

速度履歴とエコドライブ評価を表示します。
グラフは、30秒ごとの平均速度履歴を色で表示します。緑：0～50km/h、黄：50～80km/h、赤：80km/h～

- 走行中の道路の制限速度の情報が本機のデータベースにない場合はエコドライブ評価を表示します。
- 表示される制限速度は、工事や天候などにより実際の制限速度と異なることがあります。

● 交差点案内(ルート案内中のみ)

ルート案内中は交差点の曲がる方向と案内ポイントまでのおおよその距離が表示されます。

● ルート情報(ルート案内中のみ)

現在地からゴール(目的地)までのルート情報を表示します。

● 高速道路施設情報

高速道路を走行中は、現在地より先のIC/JCT、サービスエリアまたはパーキングエリアまでのおおよその距離と到着予想時刻や各施設の情報を表示します。

● 天気予報

天気予報を表示させるには、カーナビ連携アプリケーション「KENWOOD Drive Info.」(P.52)が必要です。

- 現在地の天気予報を表示します。自宅を登録している場合は、自宅付近の天気予報も表示します。
- ルート案内中は、現在地、経由地(経由地を設定している場合)、目的地の天気予報を表示します。

● AVビジュアルライザ

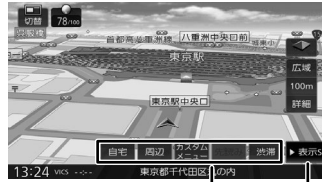
現在受信中の放送局や、再生中の曲の情報などを表示します。

- アナライザー表示と波紋表示があります。
- 映像ソース再生中は映像は表示されません。

ショートカットボタンの使いかた

現在地図画面には、いろいろな機能が登録されているショートカットボタンが表示されます。

1 ショートカット切替ボタン(表示S / 表示L / 閉じる)をタッチする



ショートカットボタン
ショートカット切替ボタン

タッチするたびに①～③の順にショートカットボタン表示が切り替わります。

① ボタン表示L



バーチャルルームミラーが使えるとき



② ボタン表示S



バーチャルルームミラーが使えるとき



③ ボタン表示なし



ボタン	機能
自宅	自宅へ帰るルートを探します。自宅を登録していない場合は、自宅の登録が行えます。
周辺	周辺の施設を検索します。
カスタムメニュー	カスタムメニューを表示します。 →「カスタムメニューの使いかた」(P.13)
先読み	探索ルートの案内ポイントが確認できます。
渋滞	VICS情報画面を表示します。

ボタン	機能
V.ルームミラー	バーチャルルームミラー映像を2画面表示します。
表示S	ボタン表示Sを表示します。
閉じる	ボタン表示なしにします。
表示L	ボタン表示Lを表示します。



- V.ルームミラー** は、「外部機器設定」の「バーチャルルームミラー」が「ON」に設定されているときに表示されます。また、バーチャルルームミラー画面に切り替えるためには、ドライブレコーダー（別売品）とリアカメラ（別売品）のどちらか一方または両方を接続する必要があります。

別売品のドライブレコーダー、リアカメラについては、「別売品について」(P.43) を参照してください。
- 別売のドライブレコーダー DRV-R530を使用するときは、ドライブレコーダーの設定と接続が正しく行われているときのみ表示します。

目的地までのルート作りかた

目的地を検索し、目的地までのルートの探索をします。

1 ホーム画面の**目的地検索**をタッチする



2 目的地を探す方法をタッチする



ボタン	機能
名称	名称を入力して探します。
住所	住所を選択して探します。
番号	電話番号、郵便番号、マップコード、または緯度経度を入力して探します。
ジャンル	ジャンルを選択して探します。
登録地点	本機に登録した地点から探します。 →「自宅/地点の登録のしかた」(P.30)
履歴	いままでルート探索した行き先から探します。
自宅	登録してある自宅までのルートを探します。
スポットブラウザ おでかけプラン 目的地予約	カーナビ連携アプリケーション「MapFanAssist」に登録してある設定から探します。→「MapFanアシストについて」(P.41)

ここでは、例として住所を選択して目的地を探します。

住所をタッチする

住所以外の検索方法の詳細については「ユーザーズガイド」をご覧ください。

→「説明書について」(P.9)



- カーナビ連携アプリケーション「MapFanAssist」から設定を取得するには、「KENWOOD MapFan Club」に入会(有料)する必要があります。
- 目的地検索の周辺検索、ジャンル検索、名称検索、電話番号検索、提携駐車場検索では、検索した施設が営業時間外の場合は「！」マークが表示されます。(営業時間情報がデータベースに無い施設は表示されません)

3 検索する都道府県をタッチする



リストの最初に現在地周辺の都道府県が4つまで表示されています。

4 画面に従い、市区町村以降の住所を選択する

選択した住所の地図が表示されます。

5 目的地をタッチする



目的地までのルート探索がされ、ルート探索結果画面が表示されます。



- ルート探索後は、経由地の設定ができます。経由地の設定方法については「ユーザーズガイド」をご覧ください。

6 ルートの探索条件をタッチする



ボタン	機能
推奨	推奨ルートです。
距離	走行距離が短くなることを優先するルートです。
高速	高速道路(有料道路)を優先して通るルートです。
一般	一般道路を優先して通るルートです。
高速/距離	高速道路(有料道路)を優先して通り、一般道路では走行距離が短くなることを優先するルートです。
全行程	全ての探索条件のルートを探査し、各ルートの比較ができます。

7 案内開始をタッチする



選択中のルートで案内が開始されます。

はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた/
設定のしかた

ハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

付録

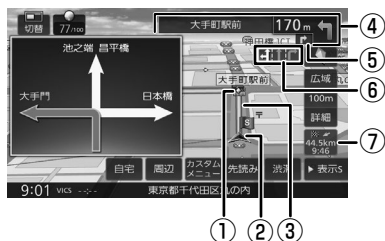
ルート案内地図の見かた

ルート案内中は、案内ルートのほかに案内ポイントや交通情報など、さまざまな情報が地図に表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

一般道路のルート案内

一般道路を走行中のルート案内中は、次の情報が表示されます。



番号	表示 / 機能
①	案内ポイント 探索ルート走行中に案内される地点です。
②	自車位置マーク
③	探索ルート 目的地または経由地までのルートです。一般道路は緑色で表示され、細街路は桃色で表示されます。
④	次案内ポイント情報 次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。
⑤	次々案内ポイント情報 探索ルート走行中に案内される地点です。
⑥	レーン情報 レーン情報を表示します。 ・ (白色矢印) : 案内レーン ・ (水色矢印) : 推奨通過レーン
⑦	到着予想時刻と距離 対象の行き先 (次の経由地または目的地) への到着予想時刻と距離が表示されます。経由地が設定されている場合は、このボタンにタッチするたびに、対象の行き先が切り替わります。

高速道路のルート案内

高速道路を走行中のルート案内中は、自動的にハイウェイモード画面が表示されます。



番号	表示 / 機能
①	ハイウェイモードボタン ハイウェイモード画面が消えているときにタッチすると表示します。
②	ハイウェイモード画面 高速道路を走行中に、③～⑥の情報を表示します。
③	施設名称/施設案内表示 進行方向にあるインターチェンジ (IC) / ジャンクション (JCT)、サービスエリア (SA)、パーキングエリア (PA)、料金所の名称と距離、通過予想時刻、各施設の設備が表示されます。SA・PAの場合は、タッチすると詳細情報が表示されます。
④	交通情報表示 施設間の交通情報が表示されます。 ・ 渋滞 : 赤色 ・ 混雑 : 橙色
⑤	規制情報表示 車線規制などのVICS情報が3件まで表示されます。規制マークをタッチすると詳細情報を表示します。
⑥	スクロールボタン/現区間 ハイウェイモード画面内の施設情報をスクロールします。スクロール中に 現区間 をタッチすると、現在地に近い施設情報に戻ります。
⑦	閉じる ハイウェイモード画面を消します。
⑧	自車位置マーク
⑨	探索ルート 目的地または経由地までのルートです。高速道路は水色で表示されます。



- ・ハイウェイモード画面はルート案内していないときも、高速道路を走行中は表示されます。
- ・情報が無い高速道路を走行中は、ハイウェイモード画面は表示されません。

ルート案内の中止のしかた

ルート案内は中止できます。

1 ホーム画面の案内終了をタッチする



確認画面が表示されます。

2 はいをタッチする

ルート案内が中止され、現在地図画面が表示されます。



- ・スタート地点、経由地、目的地のアイコンは、新たにルート案内を開始するか、電源を入ねおすまで消えません。

AVソースの切り替えかた

1 ホーム画面のソース切替をタッチする



ソース切替画面が表示されます。

2 聞きたいソースをタッチする



ボタン	機能
iPod	iPodの曲を再生します。
USB	USB機器のオーディオ/ビデオファイルを再生します。
SD	SDカードのオーディオ/ビデオファイルを再生します。
内蔵メモリ	本機の内蔵メモリに録音したデータを再生します。
マルチAVブラウザ	USB機器、SDカード、内蔵メモリの曲またはビデオを表示し、カテゴリから選択して再生します。
DISC	CD、CD-Rのオーディオファイル、DVDを再生します。
地デジ	地デジ放送を受信します。
FM	FMラジオ放送を受信します。
AM	AMラジオ放送を受信します。
Bluetooth AUDIO	Bluetooth対応オーディオプレーヤーを再生します。

はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた/
設定のしかた

ハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

付録

ボタン	機能
SMART USEN	スマートフォンにインストールしているカーナビ連携アプリケーション「SMART USEN」の曲を再生します。
交通情報	交通情報放送を受信します。
STANDBY	AVソースをオフにします。

AVソース画面と現在地図画面の切り替えかた

- 1** **現在地/AV**を押す
押すたびにAVソース画面と現在地図画面に切り替わります。

AVソースの操作のしかた

DISCソースの操作例

● 音楽CDソースの操作画面例



● オーディオファイルディスクの操作画面例



ボタン	機能
K2	K2テクノロジーのON/OFFを切り替えます。ONにすると、録音時に失われた信号成分を補完し、より自然な音声再生にします。
Pスリーブ	運転席以外の席では搭乗者がうるさく感じない音質にします。
切替	画面のデザインが切り替わります。

ボタン	機能
▶ 	タッチするたびに再生と一時停止(ポーズ)をします。
◀◀ ▶▶	曲を切り替えます。タッチし続けると早戻し/早送りします。
▶ +	フォルダを切り替えます。(オーディオファイル再生時のみ)
録音	再生中の音楽CDを内蔵メモリまたはSDカードに録音します。 録音停止 をタッチすると、録音を停止します。(音楽CD再生時のみ)
リスト	再生中のCD/フォルダの曲をリスト表示します。
表示	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

表示をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。**閉じる**をタッチすると消えます。また、一定の時間が過ぎると消えます。



ボタン	機能
タイトル検索	「KENWOOD Music Info.」(P.52)を使用して楽曲情報を取得します。(音楽CDのみ)
録音設定	録音するときの録音メモリ設定と音質設定をします。(音楽CDのみ)
ランダム再生	ランダム再生モードを切り替えます。
リピート再生	リピート再生モードを切り替えます。
閉じる	サブ機能ボタンを消します。

● DVDを見ているときに表示されるボタン

ボタン	機能
DVD設定	DVDの設定画面を表示します。
音声切替	音声を切り替えます。
字幕切替	字幕を切り替えます。
アングル	アングルを切り替えます。(DVD-Videoのみ)
再生停止	再生を停止します。
トップメニュー	ディスクのトップメニューを表示します。(DVD-Videoのみ)

ボタン	機能
メニュー	ディスクのメニューを表示します。(DVD-Videoのみ)
プログラムリスト	プログラムリストを表示します。(DVD-VRのみ)
プレイリスト	プレイリストを表示します。(DVD-VRのみ)

K2テクノロジーについて

「K2テクノロジー」は、株式会社JVCケンウッドと株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメントが共同開発した、音源のデジタル化における高音質化情報処理技術です。時間軸上で変化する波形情報の解析技術などのオリジナルテクノロジーで、音楽制作のプロフェッショナルであるビクタースタジオのエンジニア達の音質評価をクリアし、限りなくオリジナルマスター音源の忠実な再生を目指した技術です。

USB/SDソースの操作例

● USB/SDソースの操作画面例



サブ機能

表示 をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。**閉じる** をタッチすると消えます。また、一定の時間が過ぎると消えます。



ボタン	機能
デバイス切替	複数のUSB 機器を接続しているときに、再生するUSB 機器を切り替えます。(USBのみ)
カテゴリーDB更新	カテゴリーデータベースを作成、更新します。

上記以外のボタンについては、「DISCソースの操作例」(P.26) をご参照ください。

DISC/USB/SDソース以外の詳細な操作方法については、「ユーザーズガイド」をご覧ください。
→「説明書について」(P.9)

FMソースの操作例

● FMソースの操作画面例



ボタン	機能
クリアボイス	チェックを付けると音声が開き取りやすくなります。
K2	K2テクノロジーのON/OFFを切り替えます。ONにすると、録音時に失われた信号成分を補完し、より自然な音声再生にします。
スリープ	運転席以外の席では搭乗者がうるさく感じない音質にします。
1~8 (プリセットボタン)	プリセットされている放送局を受信します。
← →	放送局を選択します。タッチするたびに、1ステップずつ周波数を変えて選局します(マニュアル選局)。タッチし続けると、タッチしている間、周波数が連続して変わります。
< >	プリセット局を番号順に受信します。「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します(オート選局)。
プリセット切替	プリセットモード(エリア/お気に入り1/お気に入り2)を切り替えます。
リスト	プリセットモードが「エリア」のときに、登録データから取得した放送局をリストで表示します。

FMソース以外の詳細な操作方法については、「ユーザーズガイド」をご覧ください。
→「説明書について」(P.9)

映像表示に操作ボタンを表示する

1 画面をタッチする



操作ボタンが表示されます。
操作ボタンは5秒後に消えます。または「非表示」をタッチするとすぐに消えます。

地デジの操作

● 地デジソースの操作画面例



ボタン	機能
クリアボイス	チェックを付けると音声聞き取りやすくなります。
K2	K2テクノロジーのON/OFFを切り替えます。ONにすると、録音時に失われた信号成分を補完し、より自然な音声再生にします。
Pスリープ	運転席以外の席では搭乗者がうさく感じない音質にします。
非表示	操作ボタンを消します。
映像調整	映像の画質を調整します。
受信モード切替	受信モードを切り替えます。
音声切替	視聴番組に複数の音声/二重音声があるときに、音声を切り替えます。 なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
字幕切替	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。 なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。

ボタン	機能
映像切替	視聴番組に複数の映像があるときに、映像を切り替えます。
地デジ設定	地デジ設定画面を表示します。→「地デジの設定をする」(P.29)
1~12 (プリセットチャンネルボタン)	プリセットされている放送局に切り替えます。 視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびにサービスが切り替わります。
◀▶	前または次のプリセット局を選局します。
プリセット一覧	プリセット一覧を表示します。タッチするとプリセットされている放送局に切り替えます。 視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびにサービスが切り替わります。
番組表	番組表を表示します。
プリセット切替	プリセットモード（エリア/ホーム/お出かけ）が切り替わります。「エリア」は現在地周辺の地域のチャンネルが自動でプリセットされます。「ホーム」または「お出かけ」を初めてご使用になる場合は初期スキャンを行ってください。
閉じる	サブ機能ボタンを消します。
表示	サブ機能ボタンを表示します。

■ ホームとお出かけに放送局をプリセットする

プリセット切替をタッチして“ホーム”または“お出かけ”に切り替えます。

プリセット一覧をタッチします。



初期スキャンをタッチします。



現在地の都道府県をタッチして**はい**をタッチします。受信できる放送局を検索し、プリセットに登録します。



- **再スキャン**は初期スキャンを行った後で、新たに受信できる放送局を空いているプリセットボタンに登録します。
- 再スキャンを行った後も、すでにプリセットされている内容はそのまま残ります。
- プリセットした後に初期スキャンをするとプリセットされていた内容はすべて消去され新たにプリセットします。

■ 地デジの設定をする

項目	設定 [初期値]
1Seg/12Seg 自動切替設定	受信モードを“自動”に設定している場合に、優先させる切替条件を設定します。【推奨】
中継局/系列局 サーチ	中継局サーチ時の切り替え方法を設定します。 【自動切替（中継局+系列局）】
文字スーパー	表示する文字スーパーを設定します。【第一言語】
デバイスID	受信識別情報が表示されます。この情報は、受信不具合のお問い合わせ時に必要になることがあります。
番組表文字 サイズ	番組表の文字サイズを設定します。【中】

ルート編集のしかた


設定したルートの確認、変更ができます。

1 ホーム画面の「ルート」をタッチする



2 編集したい項目をタッチする



ボタン	機能
再探索	探索条件（推奨、距離、高速、一般、高速/距離）を変更して、ルートを再探索できます。
到着順変更	目的地と経由地の到着順の変更や削除などの編集ができます。
ルート表示	ルートを地図上に表示します。  ルート情報 ：ルート上にあるインターチェンジ、道路の名称、距離などの情報を表示します。ただし、ルートによっては目的地までの全ての情報は表示されない場合があります。 デモ走行 ：ルートを走行時の、表示やルート案内を確認できます。
目的地表示	設定してある目的地と経由地を地図上に表示します。

自宅/地点の登録のしかた

自宅やよく行く場所を登録できます。登録しておく、そこまでのルート探索が簡単になります。

1 自宅の場所または登録したい地点にカーソルを合わせて「登録」をタッチする



2 自宅を登録する場合は「自宅」をタッチし、それ以外の場合は登録したい地点グループをタッチする



3 決定をタッチする



- 名称は、後から編集できます。→「地点情報の編集のしかた」(P.31)
- 登録できるか所
 - 自宅：1か所
 - 地点：300か所（自宅を含む）

地点情報の編集のしかた

登録した地点の名称、電話番号、グループを編集します。

1 ホーム画面の「情報・設定」をタッチする



2 登録地点編集をタッチする



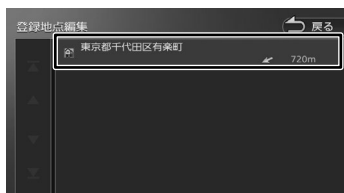
3 登録地点編集をタッチする



4 編集する地点が登録されているグループをタッチする



5 編集する地点をタッチする



6 編集する項目をタッチする



ボタン	機能
名称	名称を変更できます。名称を入力後、 決定 をタッチします。
グループ	登録グループを変更できます。変更したいグループをタッチします。
電話番号	電話番号を変更できます。電話番号を入力後、 決定 をタッチします。



- 住所は変更できません。
- 自宅のグループは変更できません。
- 名称は48文字まで登録できます。
- 電話番号は15桁まで登録できます。
- 電話番号の「-」（ハイフン）は省略できます。

はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた/
設定のしかた

ハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

付録

音楽CDの録音のしかた

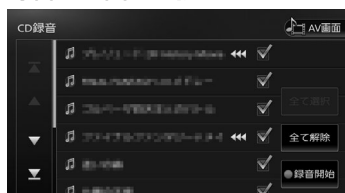
音楽CDを内蔵メモリまたはSDカードに録音することができます。

1 AVソースをDISCに切り替え、録音したい音楽CDを再生する

2 録音 をタッチする



3 録音する曲を選択する

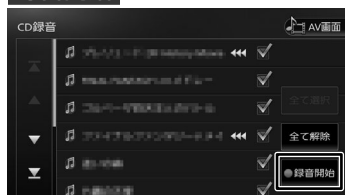


チェックが付いている曲が録音されます。

全て選択 / 全て解除:

録音する曲として、全て選択/全て解除します。

4 録音開始 をタッチする



- 録音中は、マルチAVブラウザ、地デジ、および録音しているソース（SDまたは内蔵メモリ）は選択できません。
- 録音中に電源をオフにしないでください。ファイルが消えてしまったり、SDカードが破損するおそれがあります。電源をオフにしたい場合は、録音を中止してから行ってください。
- 録音中に録音を中断しても、それまでに録音を完了しているデータは保存されます。

5 はい をタッチする

録音が始まります。



録音停止:

録音を停止して、音楽CDの1曲目から再生します。



すべての録音が終了すると、**録音モード終了**が表示されます。**録音モード終了**をタッチして**はい**をタッチすると、音楽CDの1曲目から再生されます。

録音データを再生するには、ソースを内蔵メモリを選択またはSDにしてリスト表示で「録音データ」再生モードを選択します。
→「AVソースの切り替えかた」(P.25)

録音設定をする

1 音楽CDのAV画面を表示して、サブ機能ボタンの録音設定をタッチする



2 設定する項目にをタッチする



項目	設定【初期値】
録音先	録音するメモリを設定します。 【内蔵メモリ】
録音音質	録音する音質を設定します。 【標準】



- 録音ファイルは、次のように名前が付けられます。
 - タイトル名：_"Track"_トラック番号_年_月日_時刻
 - アルバム名：_"Album"_年_月日_時刻
 - アーティスト名：_"Artist"_年_月日_時刻
 なお、年（西暦）、月日、時刻（24時制）は、その音楽CDが初めて録音されたときの開始時点のものです。
- 楽曲情報は本機で編集することができます。また、カーナビ連携アプリケーション「KENWOOD Music Info.」（P.52）を使って楽曲情報を取得することもできます。
- 録音できる曲数
 - 内蔵メモリ：
 - 標準音質 … 約1000曲
 - 高音質 … 約500曲
 - 8GB SDカード：
 - 標準音質 … 約2000曲
 - 高音質 … 約1000曲
- 録音できるアルバム数
 - 内蔵メモリ：最大999枚
 - SDカード：最大999枚

画質の調整のしかた

1 調整する映像ソース画面を表示する

2 映像調整 をタッチする



操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

3 各項目の -/+ をタッチする



ボタン	機能
コントラスト	コントラストを調整します。
ブライトネス	映像の明るさを調整します。
色の濃さ	色の濃淡を調整します。
色合い	色合いを調整します。(カメラ/ドライブレコーダー映像のみ)
アスペクト	SD/USB：レギュラー、フル、オリジナル DVD：レギュラー、フル、オート



- 地図画面の画質は調整できません。
- 非表示** をタッチすると、操作ボタンを消すことができます。

情報・設定の使いかた

情報・設定画面では、VICS情報、ETC情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどの設定ができます。

1 ホーム画面の「情報・設定」をタッチする



情報・設定画面が表示されます。



ボタン	機能
VICS	VICS情報を表示します。
接続	本機に接続されている機器の接続状態やGPSの受信状態などを表示します。→「接続状態の確認のしかた」(P.40)
バージョン	本機に収録されている各種データのバージョン情報を表示します。
ETC	本機に接続されているETC機器の履歴や情報を表示します。
ECO	エコドライブ情報を表示します。
ナビ	ナビゲーションに関する設定を行います。→「ナビ設定」(P.34)
サウンド	バランスやイコライザーなどサウンドに関する設定を行います。→「サウンド設定」(P.36)
システム	システムに関する設定を行います。→「システム設定」(P.37)
外部機器	本機に接続する外部機器に関する設定を行います。→「外部機器設定」(P.38)

ボタン	機能
登録地点編集	登録地点の編集を行います。→「地点情報の編集のしかた」(P.31)
MapFan連携	MapFanアシストを使用するときの設定を行います。→「MapFan連携設定」(P.39)

ナビ設定

■ 地図

地図の表示に関する設定ができます。

項目	設定 [初期値]
地図色/文字サイズ	地図の色、文字サイズ、昼夜画面の切替を設定します。 [地図色:1、文字サイズ:中、地図色昼夜切替:自動]
ランドマーク表示	地図に表示する地点表示を設定します。
登録地点表示	
自転車マーク	地図に表示する自転車マークを設定します。[▲]
走行軌跡の表示	走行軌跡の表示を設定します。[ON]
走行軌跡を消去	本機に記憶されている走行軌跡を消去します。
地図の向き	地図の向きを設定します。 [3Dビュー]
地図の向き (小画面)	小画面/中画面 (子画面) の地図の向きを設定します。 [3Dビュー]
3D傾き調整	3D地図の傾き角度を設定します。設定値は地図子画面にも反映されます。 [傾き1]
フライビューマップ表示	フライビューマップの表示設定をします。[ON] →「地図のスクロールのしかたと見かた」(P.18)
ワンタッチルーペ	自転車マークをタッチしたときの拡大表示設定をします。[ON] →「現在地図の見かたと操作」(P.17)
市街地図の表示縮尺	市街地図の表示縮尺を設定します。[100m以下]
盗難多発地点表示	盗難多発地点の表示設定をします。盗難発生頻度により赤色、橙色、黄色で区分し表示します (地図の縮尺が200m以下のときに表示)。[ON]

項目	設定 [初期値]
冠水注意地点表示	冠水注意地点（豪雨時に道路が一時的に冠水し、通行に支障・危険がある場所）の表示設定をします（地図の縮尺が200m以下のときに表示）。 [ON]
ゾーン30エリア表示	ゾーン30エリア（30キロ規制区域）の表示設定をします。 ゾーン30エリアを青紫色で表示します。（地図の縮尺が300m以下のときに表示） [ON]
マップコード表示	地図上に表示するマップコードの設定をします。 [OFF]
緯度・経度表示	地図上に表示する緯度・経度の設定をします。 [ON]
3Dポリゴンランドマークの半透過表示	3Dビューの3Dポリゴンランドマークを半透過にする設定をします。[ON]

■ 案内

ルート案内に関する設定ができます。

項目	設定 [初期値]
案内中の音量調整	音声案内中に音声音量を、音量キーにより調整可能とする設定をします。 [OFF]
案内音声の音量	案内音声の音量を設定します。 [25]
案内音声音量の車速連動	車速に応じて、案内音声の音量を自動で調整する設定をします。[ON]
案内警告音の出力	案内警告音の出力設定をします。[ON]
ルート案内音声の出力	ルート案内音声の出力設定をします。[ON]
合流/踏切/車線案内音声の出力	合流案内、踏切案内、車線案内の音声の出力設定をします。[常にON]
一時停止の音声案内	一時停止情報がある交差点の手前でする音声の出力設定をします。 [常にON]
一時停止の表示	一時停止情報がある交差点の手前でする表示の設定をします。 [常にON]

項目	設定 [初期値]
ETC音声の出力 ^[1]	ETC車載器の音声の出力設定をします。[ON]
ETC料金の表示 ^[1]	ETC車載器の通行料金の地図上への表示設定をします。[ON]
レーン情報の表示	レーン情報の表示設定をします。[ON]
方面看板の表示	方面看板の表示設定をします。[ON]
高速道分岐イラストの表示	高速道分岐イラストの表示設定をします。[ON]
交差点案内図の表示	交差点案内図の表示設定をします。[ON]
ここです案内表示	ここです案内の表示設定をします。[一般道のみON]
ここです案内の自動消去	"ON" に設定すると案内ポイントの50m手前（高速道路では300m手前）で、ここです案内を消去します。「交差点案内図の表示」が"ON" に設定されているときは、自動的に交差点案内図の表示に切り替わります。 [ON]
ETCレーンの表示	料金所のETCレーン案内の表示設定をします。 [ON]
信号情報案内 (TSPS) の表示 ^[2]	信号情報案内 (TSPS) の表示・音声出力の設定をします。[ON]
盗難多発地点音声案内	盗難多発地点の案内音声の出力設定をします。 [ON]
AV画面時の地図割り込み	AV画面表示中に案内ポイントに近づいたときの、ルート案内画面の割込表示設定をします。 [ON]
バーチャルルームミラー時の地図割り込み ^[3]	バーチャルルームミラー全画面表示中に案内ポイントに近づいたときの、ルート案内画面の割込表示設定をします。[ON]
INFOウィンドウ時の地図割り込み	INFO全画面表示中に案内ポイントに近づいたときの、ルート案内画面の割込表示設定をします。 [ON]

はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた/
設定のしかた

ハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

付録

項目	設定 [初期値]
INFOウィンドウの画面切替	INFOウィンドウの表示切替エリアの情報画面を切り替える時間を設定します。“手動”に設定した場合は画面の右端をタッチすると画面が切り替わります。 [10秒]

^[1]別売の本機対応ETC車載器または本機対応のETC2.0車載器が接続されているときに設定できます。

^[2]別売のケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応ETC2.0車載器ETC-N7000を接続しているときに設定できます。

^[3]別売のドライブレコーダー（DRV-R530、DRV-MN940B）または別売のリアビューカメラ（CMOS-320、CMOS-230W、CMOS-230）接続時に使用します。

■ 探索

ルート探索に関する設定ができます。

項目	設定 [初期値]
優先する探索条件	最初に探索するルートの条件を設定します。 [推奨]
マイルートアジャスター	ルート探索の詳細条件を設定します。
スマートIC考慮	ルート探索時にスマートICを利用するか設定します。[OFF]
目的地の横付けを考慮した探索	目的地の施設が道路の反対側などに来ないように横付けまで考慮した探索を行うか設定します。 [ON]
フェリーを利用した探索	ルート探索時にフェリーを利用するか設定します。[OFF]

■ 交通情報

項目	設定 [初期値]
VICS情報表示	VICS情報の表示設定や割込表示設定をします。
図形情報の割り込み表示	
文字情報の割り込み表示	
ETC2.0優先情報の割り込み表示	
ETC2.0一般情報の割り込み表示	
割り込み表示の時間	
ETC2.0アップリンク	

■ その他

現在地修正や更新用のSDカードの作成ができます。

項目	設定 [初期値]
NaviCon友達マップ	カーナビ連携アプリケーション「NaviCon」で使用します。
車両ナンバー	表示する通行料金を設定します。[5・7]
現在地修正	地図上の自車位置と向きを修正します。
地図更新プログラム	地図の更新用のSDカードを作成します。
オービス更新プログラム	オービスの更新用のSDカードを作成します。

サウンド設定



- サウンドの設定はAVソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ (STANDBY) のときは、サウンドの設定はできません。
- パッセージャースリープ機能をオンにしているときは、サウンドの設定はできません。
→ [P.27] [P.27]
- FM/AMラジオ、地デジ、交通情報ソース画面で「クリアボイス」にチェックを付けているときは、イコライザーの設定はできません。

項目	設定 [初期値]
リスニング設定	リスニングポジションを設定します。
イコライザー	音質を設定します。
バランス/フェーダー	左右/前後の音量バランスを設定します。
音質・音場効果	ミュージックパスブースト/ミュージッククラウドネス/Drive Equalizer +/K2テクノロジー/リアライザー/サウンドライザーを設定します。
スピーカー	スピーカーの構成と車両タイプを設定します。
ソースレベル	各AVソースの音量を揃えます。[0]

システム設定

■ AV

音声案内時のAV音量など、音量に関する設定ができます。

項目	設定【初期値】
案内音声出力時のAV音量	音声案内時のAVソースの音量を設定します。 【下げる】
リバース時のAV音量ダウン	車両をバックするときにAVソースの音量を下げる設定します。【ON】
スターターボリューム	電源オン時のAV音量を下げて、徐々に元の音量に戻すまでの時間を設定します。 【動作しない】
ゴールオートボリューム	目的地または自宅までの残り距離に応じて音量を自動で下げる設定をします。【OFF】

■ 表示

項目	設定【初期値】
ディマー	ディマー（自動輝度調整）の連動方法を設定します。 【イルム連動】
映像画面の時計表示	映像画面表示中の時計表示の設定をします。【ON】
消灯画面の時計表示	画面オフ中の時計表示の設定をします。【ON】

■ 車両

オートアンテナ、ステアリングリモコンの設定ができます。

項目	設定【初期値】
オートアンテナ	オートアンテナ装備車に取り付けた場合に“あり”に設定します。【なし】 →「サブメニューの使いかた」(P.14)
ステアリングリモコン	ステアリングリモコンを使用するときに設定します。お使いの車両メーカーを選択すると、ステアリングリモコンキーの割り当てを設定します。 ユーザー独自のキーを割り当てたい場合は“ユーザー学習”を選択して「ステアリングリモコン学習」をタッチして割り当てを行ってください。
ステアリングリモコン学習	ステアリングリモコンの機能を設定します。
ハンドル	パッセンジャースリープ機能オンのときに音を出す、車両シートの位置を設定します。【右】

■ 一般

SDカードの初期化、暗証番号の登録、変更などができます。

項目	設定【初期値】
操作音の出力	操作音の出力設定をします。【ON】
ショートカットボタン登録	カスタムメニューのショートカットボタンに機能を登録します。→「カスタムメニューに機能を登録する」(P.14)
暗証番号登録	本機の暗証番号を設定します。暗証番号を設定すると、本機を車両から取り外したときに暗証番号の入力が必要となります。
暗証番号解除	設定した暗証番号を解除します。
暗証番号変更	設定した暗証番号を変更します。
セキュリティインジケター	セキュリティインジケターの設定をします。セキュリティインジケターは本機の電源をオフ（ACC OFF）にしたときに点滅します。 【OFF】
リフレッシュ通知	運転開始から（本機が電源オン状態のままで）90分ごとに「そろそろ90分になります。休憩しませんか？」と音声で通知します。【ON】
日没ライト案内/警告音声案内	日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、音声で案内または警告をする設定をします。【ON】
日没ライト案内/警告表示	日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、案内または警告を表示する設定をします。【ON】
SDカード初期化	SDカードを初期化します。SDカード内のすべてのデータが消去されます。

■ 特別

設定の初期化や、ユーザー切替などを行います。

項目	設定【初期値】
オープンソースライセンス	ライセンスを表示します。
ユーザー切替	2ユーザー分の設定を保持し、切り替えることができます。【1】
設定データの書き出し	設定データの書き出し、読み込みを行います。
設定データの読み込み	
システムの初期化	本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。 暗証番号の設定と内蔵メモリ、SDカードに録音した曲は消去されません。

はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた/
設定のしかた

ハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

付録

外部機器設定

■ Bluetooth

項目	設定【初期値】
Bluetooth	Bluetooth機能のオン/オフ設定をします。[ON]
デバイス接続	本機とBluetooth機器の接続設定をします。
PINコード	現在の本機のPINコードを表示します。また、本機のPINコードを変更します。[0000]
デバイス名	現在の本機のデバイス名を表示します。また、本機のデバイス名を変更します。
デバイスアドレス	本機のデバイスアドレスを表示します。
オートペアリング	オートペアリング機能を設定します。[ON]
着信の自動応答	着信時に、自動的に通話可能になるまでの時間を設定します。[OFF]
着信音量	着信音量を調整します。[15]
受話音量	受話音量を調整します。[15]
通話中の音量調整	ハンズフリー通話中の▼▲(音量キー)による通話音量調整機能のオン/オフ設定をします。[ON]
音質調整	通話音質を調整します。 エコーキャンセル：[0] ノイズリダクション：[0] マイクゲイン：[0] クリアボイス：[OFF] ミュート：[OFF]

■ カメラ

項目	設定
リアカメラ接続	リアカメラの接続設定をします。 [なし] → 「リアビューカメラの設定のしかた」(P.47)
リアカメラ調整	専用カメラの調整を行います。汎用カメラの場合はガイド線を調整します。

■ その他

項目	設定
Bluetoothテザリング	カーナビ連携アプリケーション「MapFanAssist」を使用するときは「ON」に設定します。[OFF]
MapFan会員サービス	テザリング機能を使用するときの設定項目です。
ETC2.0接続	ETC2.0車載器の接続を設定します。 [タイプB] → 「ETC2.0車載器の接続設定のしかた」(P.49)
バーチャルルームミラー ^[4]	現在地図画面に別売のドライブレコーダーのリア映像またはリアビューカメラの映像を表示する設定をします。[ON]
サブリアカメラ ^[5]	シフトレバーを「R」(リバース)にしたときに、リアビューカメラの補助として別売のドライブレコーダーのリア映像に切り替える設定をします。[OFF]
スマートフォン置き忘れ警告	iPhoneをUSB接続しているときに、本機の電源をオフすると「携帯電話を忘れていませんか?」と音声案内する設定をします。[ON]

^[4]別売のドライブレコーダー(DRV-R530、DRV-MN940B)または別売のリアビューカメラ(CMOS-320、CMOS-230W、CMOS-230)接続時に使用します。

^[5]別売のドライブレコーダー(DRV-R530、DRV-MN940B)接続時のみ設定できます。

MapFan連携設定

項目	設定 [初期値]
データの最終取得日	データを最後に取得した日時を表示します。
更新方法	サーバーから情報を取得するときの方法を設定します。[Bluetoothデザリング接続時のみ更新]
自動更新間隔	上記の「更新方法」で「自動更新する」を設定したときの更新間隔を設定します。間隔が短いほど通信量が増えます。 “常時”は10秒間隔で常に更新しています。 [15分]
自転車位置通知	[MapFanAssist]の「マイカー位置表示」使用時に、自転車位置情報の使用設定をします。 [OFF]
自動ルート探索 (目的地予約)	“ON”に設定すると、目的地予約をサーバーから本機で受信したときに、自動でルート探索、ルート案内を開始します。 “OFF”に設定すると、受信画面を表示してルート探索、案内を開始するか選ぶことができます。 [OFF]
自動ルート探索 (おでかけプラン)	“ON”に設定すると、おでかけプランを1件サーバーから本機で受信したときに、自動でルート探索、ルート案内を開始します。 “OFF”に設定すると、受信画面を表示してルート探索、案内を開始するか選ぶことができます。 [OFF]

はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた/
設定のしかた

ハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

付録

接続状態の確認のしかた

1 ホーム画面の「情報・設定」をタッチする



2 接続をタッチする



接続情報が表示されます。



表示または設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
リバース信号	リバース検出コードの接続状態を表示します。
パーキングブレーキ	パーキング検出コードの接続状態を表示します。
イルミネーション	イルミネーションコードの接続状態を表示します。
GPS	GPSアンテナの接続状態を表示します。 正しく接続されている場合は、測位状態を表示します。
車速パルス	車速パルスの値を表示します。
センサー学習	センサーの学習状態を表示します。 「初期化」をタッチすると、センサーの学習を初期化します。

項目	説明
専用カメラ	専用リアカメラが接続されたときに接続状態を表示します。 リア： リアカメラが接続されています。
ドライブレコーダー	ドライブレコーダーの接続状態を表示します。
リアドライブレコーダー	リアドライブレコーダーの接続状態を表示します。
ETC車載器	ETC車載器の接続状態を表示します。
ETC2.0車載器	ETC2.0車載器の接続状態を表示します。 接続中： ETC2.0車載器を接続しているときに表示します。 接続中+光： ETC2.0が光ビーコンに対応しているときに表示します。



- 「センサー学習」の「初期化」は、タイヤを交換したときなどに使用してください。
- ETC2.0 車載器を接続すると、「ETC 車載器」が表示されている位置に「ETC2.0車載器」の接続情報が表示されます。

■ センサーの学習について

本機は、GPSの情報と内蔵センサーの情報を元に、自車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしています。タイヤを交換した後、自車位置のずれが大ききようであれば、センサー学習のリセットを行ってください。センサー学習をリセットした場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。学習が完了すると、自車マークの位置が正しく表示されます。

正しくセンサー学習をするには

- GPS 情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。
- 障害物（建物、街路樹など）が少ない場所を走行してください。

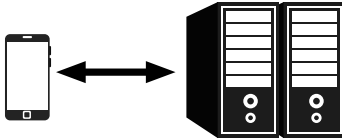


- センサー学習中は、自車位置がずれる場合があります。
- GPSアンテナの接続状態や、GPS情報の受信状態、学習状況は、本機の画面で確認することができます。

MapFanアシストについて

MapFanアシストでは、「KENWOOD MapFan Club」に入会すると、カーナビ連携アプリケーション「MapFanAssist」でブックマークした地点やおでかけプランなど一部の機能をサーバーを介して本機と連携することができます。「KENWOOD MapFan Club」の会員登録については、同梱のKENWOOD MapFan Clubに関するお知らせをお読みください。

スマートフォンアプリ
「MapFanAssist」



本機とサーバーは、スマートフォンを使ってBluetoothデザリング経由で接続します。
ご利用には、お持ちのスマートフォンにてデザリング契約が必要です。



地図サイト「MapFan」<https://mapfan.com>でも「MapFanAssist」機能が使用できます。LINEで「MapFan BOT」を友達に追加すれば、「MapFanAssist」機能がLINEでも使用できます。

- 「MapFanAssist」アプリ、「MapFan」は、インクリメントP株式会社が運営しています。
- 「MapFan BOT」は、LINE株式会社が提供する「LINE公式アカウント」を使用し、インクリメントP株式会社が運営しています。

「MapFanAssist」から登録した「ブックマーク」、「おでかけプラン」、「カーナビ目的地予約」をサーバーから受信する方法については「ユーザーズガイド」をご覧ください。

→「説明書について」(P.9)

言語の切り替えかた

メニューと地図の表示言語と、音声案内の発話言語を切り替えられます。

1 ホーム画面の「言語切替」をタッチする



2 変更したい言語をタッチする



電話番号検索で電話番号をするときは、国番号の入力は必要ありません。

使用履歴の消しかた

検索履歴、ルート情報（目的地/ 経由地/ ルート）、走行軌跡を消去します。

1 ホーム画面の「言語切替」をタッチする

2 ナビデータ消去をタッチする



メッセージが表示されます。

3 はいをタッチする

はじめに

基本的な使いかた

ナビデータの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた/
設定のしかた

ハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

付録

電話のかけかた

1 ホーム画面の電話メニューをタッチする



2 電話のかける方法をタッチする



ボタン	機能
プリセット	プリセットダイヤルに登録した番号に発信します。
履歴	通話履歴（発信、着信、不在着信）から発信します。（PBAP対応機器接続時）
電話帳	電話機から読み込んだ電話帳から発信します。
10キー	電話番号を入力して発信します。
音声認識	スマートフォンの音声認識機能を使って発信します。
リダイヤル	前回発信した番号に発信します。

01 / 02:

- 電話機を2台接続時に、使用する電話機をタッチして選びます。

接続切替:

- Bluetoothデバイス接続画面を表示します。

編集:

- プリセットダイヤルに電話番号を登録する編集画面を表示します。

メモ

- Bluetooth機器のバッテリー残量と電波の受信状態表示は、実際のBluetooth機器の表示と一致しない場合があります。

- プリセット、履歴、電話帳などは現在接続している機器が対象です。

3 発信する番号を選択する



メッセージが表示されます。

4 メッセージが表示された場合ははいをタッチする

電話が発信されます。



ボタン	機能
通話切替	通話先を切り替えます。 (割り込みの通話が発生中に表示)
音質調整	音質を調整します。
トーン	トーンダイヤルをするための10キーが表示されます。
閉じる	ハンズフリー通話表示を消します。 電話 をタッチすると再度表示します。
切替	ハンズフリー通話を切り替えます。
電話	ハンズフリー通話表示を消します。 電話 をタッチすると再度表示します。
閉じる	通話を終了します。

メモ

- ハンズフリー電話の受話音声は、フロントスピーカーからのみ出力されます。

電話の受けかた

電話を着信すると、着信画面が表示されます。

1 電話をタッチする



通話が可能となります。



着信を拒否します。(着信が終了します)



通話中に表示されるボタンの機能については「電話のかけかた」(P.42)をご覧ください。

別売品について

本機対応の別売品は以下になります。

- iPod 接続ケーブル
KCA-iP103
→ 「iPodの接続のしかた」(P.15)
- ドライブレコーダー
 - ナビ連動型ドライブレコーダー(フロント用) DRV-N530
 - ナビ連動型ドライブレコーダー(リア用) DRV-R530
 - ナビ連動型前後撮影対応 2 カメラドライブレコーダー DRV-MN940B
- リアビューカメラ
 - マルチビューカメラ CMOS-320
 - スタンダードリアビューカメラ CMOS-230W/ CMOS-230
- ETC 車載器
 - 株式会社デンソー製 ETC 車載器 DIU-5310 (市販品)
 - 株式会社デンソー製 ETC 車載器 DIU-5412 (市販品)
 - 車両の対応や接続については、下記ホームページから「KNA-300EX」を選択してご覧ください。
https://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option/etccable/
- ETC2.0 車載器
 - ケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応 ETC2.0 車載器 ETC-N7000
 - ケンウッド製カーナビ連動型 ETC2.0 車載器 ETC-N3000
 - パナソニック株式会社製 ETC2.0 車載器 CY-ET2000D (市販品)
接続ケーブル: KNA-P12DSRC (別売品)
 - パナソニック株式会社製 ETC2.0 車載器 CY-DSR140D (市販品)
接続ケーブル: KNA-P15DSRC (別売品)
 - 株式会社デンソー製 ETC2.0 車載器 DIU-B040 (市販品)
接続ケーブル: KNA-D15DSRC (別売品)

はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた/
設定のしかた

ハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

付録

- リアモニター
LZ-900
- トヨタ車用 / ダイハツ車用ワイヤリングキット
KNA-200WT
対応モデル：MDV-D708BTW
- 日産車用ワイヤリングキット
KNA-200WN
対応モデル：MDV-D708BTW



- 本機に接続したリアモニターに表示できるのは、DVD-VideoまたはDVD-VRの再生映像のみです。

ドライブレコーダーの 使いかた

本機には以下のいずれかの別売品ドライブレコーダーが接続可能です。

- DRV-MN940B：ナビ連動型前後撮影対応2カメラドライブレコーダー
- DRV-N530：ナビ連動型ドライブレコーダー（フロント用）
- DRV-R530：ナビ連動型ドライブレコーダー（リア用）

接続すると手動録画や静止画記録のほか、録画したファイルの再生、設定などを本機から操作することができます。

録画の画質の種類や録画時間/録画ファイル数など詳細は接続している別売品ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

本機の操作については「ユーザーズガイド」をご覧ください。→「説明書について」(P.9)



- ドライブレコーダー（別売品）を接続したときは、ETC車載器（市販品）を接続することはできません。（ETC2.0車載器を除く）
- ドライブレコーダーを接続して初めて電源をオンにしたときは、本機が認識して使用できるまでに数分かかる場合があります。
- 本機の電源をオンにしたときや設定メニューを表示した後、ドライブレコーダー（リア用）DRV-R530（別売品）の録画開始はドライブレコーダー（フロント用）DRV-N530（別売品）より約1秒遅れて開始されます。

ドライブレコーダー（リア用） DRV-R530の接続設定

ドライブレコーダー（リア用）DRV-R530（別売品）を接続したときは設定が必要です。ドライブレコーダー（フロント用）の接続設定はありません。

1 ホーム画面の**ドライブレコーダー**を タッチする



2 画面をタッチする

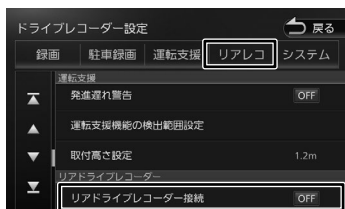


操作ボタンが表示されます。

3 設定をタッチする



4 リアレコをタッチして、リアドライブレコーダー接続をタッチして“ON”に設定する



ドライブレコーダー映像の表示のしかた

本機に接続したドライブレコーダーの映像を表示します。

1 ホーム画面の「ドライブレコーダー」をタッチする



ドライブレコーダーの映像が表示されま
す。

ドライブレコーダー画面の見かたと 使いかた

1 画面をタッチする

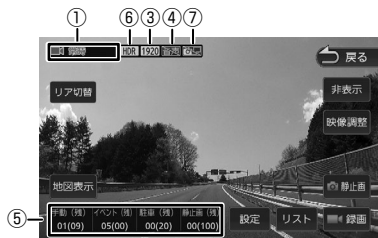


操作ボタンが表示されます。

● DRV-MN940Bの画面例



● DRV-N530/DRV-R530の画面例



番号	表示
①	録画モードと録画残時間（イベント記録/手動録画のみ表示）
②	フレームレート （DRV-MN940B接続時のみ）
③	録画画質
④	音声録音あり / なし
⑤	保存ファイル数（撮影可能ファイル数）
⑥	HDRが“ON”のときに表示 （DRV-N530/DRV-R530接続時のみ）
⑦	自動静止画撮影ON / OFF

はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた/
設定のしかた

ハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

付録

ボタン	機能
リア切替 / フロント切替	リアカメラの映像とフロントカメラ映像を切り替えます。 (DRV-MN940B接続時またはDRV-R530接続時のみ)
地図表示	地図表示モードに切り替えます。
設定	ドライブレコーダー設定を表示します。
リスト	録画ファイルリストを表示します。
録画	手動録画を開始します。 手動録画中にタッチすると、手動録画時間を延長します。
静止画	静止画を撮影します。 DRV-N530接続時はタッチし続けると自動静止画連続撮影機能がオンになります。もう一度タッチし続けるとオフになります。
映像調整	本機に表示される画質を調整します。ドライブレコーダーに録画される映像には影響しません。
非表示	操作ボタンを消します。
戻る	1つ前の画面に戻ります。

録画ファイルの再生のしかた

本機でドライブレコーダーの録画ファイルを再生します。



- フォルダやファイルの選択、または再生中は、録画が停止します。また、ドライブレコーダーでの手動録画、静止画記録もできません。
- 操作ボタンは一定時間が過ぎると消えます。画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。
- 駐車録画のファイル再生は、地図画面は表示されません。
- 地図は北側が画面の上方向になるように固定されます。
- 本機の **[HOME]** または **[現在地/AV]** を押すと、常時録画に戻ります。
- 走行中は、録画ファイルの再生映像が表示されません。
- 走行中は、地図表示、リア/フロント切替、音量調整以外の操作はできません。

1 ホーム画面の **ドライブレコーダー** をタッチする



ドライブレコーダーの映像が表示されます。
(以下の操作は、DRV-MN940B接続時の画面例で説明しています)

2 画面をタッチする

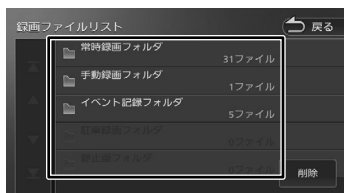


操作ボタンが表示されます。

3 リストをタッチする



4 再生したい録画フォルダを選択する



5 再生したいファイルを選択する



フロントカメラの録画ファイルの再生が始まります。

6 リアカメラの録画ファイルに切り替えるときは**リア切替**をタッチする
(DRV-MN940BまたはDRV-R530
接続時のみ)

リアカメラの録画ファイル再生に切り替わります。

フロント切替をタッチするとフロントカメラの録画ファイルの再生に戻ります。

リアビューカメラの使いかた

リアビューカメラの設定のしかた

リアビューカメラを接続したときは、設定を行う必要があります。



- 本機には以下の別売品リアビューカメラを接続できます。
 - マルチビューカメラ
 - CMOS-320
 - スタンダードリアビューカメラ
 - CMOS-230、CMOS-230W

1 ホーム画面の**情報・設定**をタッチする2 **外部機器**をタッチする3 **カメラ**をタッチして、**リアカメラ接続**をタッチする

4 汎用カメラまたは専用カメラ（コントロール機能付）をタッチする



なし:

- カメラを接続していないときに選択します。

汎用カメラ:

- CMOS-230（別売品）、CMOS-230W（別売品）または市販のカメラを接続しているときに選択します。

専用カメラ（コントロール機能付）:

- CMOS-320（別売品）を接続しているときに選択します。

メモ

- 「専用カメラ（コントロール機能付）」に設定した場合は、外部機器設定画面で「リアカメラ調整」をタッチしてカメラの設定を行ってください。
- 「汎用カメラ」に設定した場合は、外部機器設定画面で「リアカメラ調整」をタッチするとガイド線の調整ができます。

リアビューカメラの表示のしかた

- モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。
- リアビューカメラシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。

1 シフトレバーを“R”（リバース）にする

リアビューカメラの映像が表示されます。



画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。



ボタン	機能
ビュー	リアビューカメラの視点を切り替えます。(CMOS-320接続時のみ)
ガイド線	リアビューカメラ映像にガイド線を表示します。もう一度タッチすると、ガイド線が消えます。
上位置 / 下位置	警告文表示の位置を切り替えます。
非表示	リアビューカメラ操作ボタンを消します。
映像調整	リアビューカメラ映像の画質を調整します。



- 警告文を下に表示すると、車両の後端が映らなくなり、危険な場合があります。そのような場合は、表示位置を上に変更してください。

ETC車載器/ETC2.0 車載器の使いかた

本機はETC車載器（別売品）またはETC2.0車載器（別売品）を接続することができます。本機に対応しているETC車載器およびETC2.0車載器は「別売品について」（P.43）をご覧ください。

- ETC 車載器の接続設定はありません。
- ETC2.0 車載器は、接続した機器の設定を行ってください。

メモ

- ETC車載器とETC2.0車載器は本機に同時に接続しないでください。
- 本機はサービスエリアや道の駅でのITSスポットによるインターネットサービス（情報配信サービス）には対応していません。
- 本機は決済サービスには対応していません。
- ドライブレコーダーとETC車載器は同時に接続できません。（ETC2.0車載器は除く）
- ETC車載器を接続して初めて電源をオンにしたときは、本機が認識して使用できるまでに数分かかる場合があります。ETC車載器が正しく接続されているかは、接続情報画面で確認してください。→「接続状態の確認のしかた」（P.40）

ETC2.0車載器の接続設定のしかた

お買い上げ時は“タイプB”に設定されています。

1 ホーム画面の「情報・設定」をタッチする



2 外部機器 をタッチする



3 その他 をタッチして、ETC2.0接続 をタッチする



4 接続するETC2.0車載器をタッチする



なし:

- ETC2.0車載器を接続しません。

タイプA:

- パナソニック株式会社製ETC2.0車載器：CY-ET2000D(市販品)
接続ケーブル：KNA-P12DSRC（別売品）
- パナソニック株式会社製ETC2.0車載器：CY-DSR140D(市販品)
接続ケーブル：KNA-P15DSRC（別売品）

タイプB:

- ケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応ETC2.0車載器：ETC-N7000（別売品）
- ケンウッド製カーナビ連動型ETC2.0車載器：ETC-N3000（別売品）
- 株式会社デンソー製ETC2.0車載器：DIU-B040（市販品）
接続ケーブル：KNA-D15DSRC（別売品）

5 本機の電源をオフにしてオンにする

ETC車載器またはETC2.0車載器の表示設定について

ETC車載器は、ナビ設定で「ETC音声の出力」と「ETC料金の表示」を設定することができます。ETC2.0車載器はナビ設定の「交通情報」で割り込み表示や時間の設定ができます。設定については「ユーザーズガイド」をご覧ください。

→「説明書について」(P.9)

信号情報活用運転支援システム(TSPS)による信号情報案内について

本機に別売のケンウッド製カーナビ連動型高度化光ビーコン対応ETC2.0車載器ETC-N7000を接続すると、高度化光ビーコン（以降、光ビーコン）から送信される信号情報活用運転支援システム(TSPS)の情報を受信することができます。

本機は、受信した情報によって、以下の3つの信号情報案内に対応しています。

- 信号通過支援案内
- 赤信号減速支援案内
- 発進遅れ防止支援案内

詳細は「ユーザーズガイド」をご覧ください。

→「説明書について」(P.9)



- 光ビーコンは、受信状況により対向車線のVICS情報を受信してしまうことがあります。

地図更新について

開通した道路情報の更新について

高速道路や主要道路などで新しい道路が開通した際に本機の道路情報を更新することができます。

詳細は<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/>をご覧ください。

KENWOOD MapFan Clubを利用して地図を更新する

■ KENWOOD MapFan Clubのサービスとは

「KENWOOD MapFan Club」は、インクリメントP株式会社が提供するサービス「MapFan」とKENWOODのカーナビが連動した会員制地図更新サービスプログラムです。

サービスの詳細や会員登録については、同梱のKENWOOD MapFan Clubに関するお知らせをお読みください。

また、当社ホームページからもご覧になれます。
https://www.kenwood.com/jp/faq/ce_navi/mapfan/

また、オービスデータのSD版またはデータダウンロード版をお得に購入することもできます。オービスデータの購入については当社ホームページをご覧ください。https://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option/orbis/

会員登録は本機に表示されるQRコードを使っても登録できます。

■ QRコードを使ってKENWOOD MapFan Clubに登録する



- あらかじめ、スマートフォンにQRコード読み込みアプリケーションのインストールが必要です。

1 ホーム画面の「情報・設定」をタッチする



2 ナビをタッチする



3 その他をタッチして、地図更新プログラムをタッチする



4 画面に表示されているQRコードをスマートフォンで読み取る

「KENWOOD MapFan Club」会員登録サイトにアクセスします。画面に従って会員登録を行ってください。



- カーナビ登録に使用する「モデル名」と「シリアル番号(製造番号)」はQRコード表示画面(手順4)に表示されます。

はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた/
設定のしかた

ハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

付録

スマートフォン連携について

本機はスマートフォンと連携することで、ドライブ、AVに役立つさまざまな機能を拡張することができます。

NaviCon

「NaviCon」と連携すると、「NaviCon」で登録した地点を本機に送信し、目的地に設定したり、本機に地点登録することができます。また、NaviConの画面で表示している場所の地図を本機に表示することもできます。

「NaviCon」の詳細は「ユーザーズガイド」をご覧ください。→「説明書について」(P.9)

KENWOOD Drive Info.

「KENWOOD Drive Info.」は運転に便利なコンテンツや検索機能など、本機と連携することで機能を拡張することができます。

KENWOOD MapFan Club 会員限定で、本機とスマートフォンをBluetooth テザリング接続で利用することができます。Bluetooth テザリングの場合はアプリケーションのインストールは必要ありません。

別途、スマートフォンのテザリング契約が必要です。接続には通信費用が発生します。

「KENWOOD Drive Info.」の詳細は<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/> で型名を選んで「カーナビ連携マニュアル KENWOOD Drive Info.」をご覧ください。

本機では有料コンテンツをご利用いただけません。

VOIPUT

音声で行き先の住所またはフリーワードの検索や楽曲検索をすることができます。また、フリーワード検索の文字や、録音データのタイトル編集の文字を音声で入力することができます。

「VOIPUT」の詳細は<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/> で型名を選んで「カーナビ連携マニュアル VOIPUT」をご覧ください。

SMART USEN

音楽放送のプロが選曲した1,000を超えるチャンネルが、いつでも手軽に楽しめる音楽聴き放題スマートフォンアプリケーションです。本機に接続すると本機からチャンネル選択などの操作をすることができます。

「SMART USEN」の詳細は「ユーザーズガイド」をご覧ください。→「説明書について」(P.9)

KENWOOD Music Info.

音楽CDを再生または録音したときに、「KENWOOD Music Info.」を使ってインターネット上にある音楽データサーバーの楽曲情報データベースにアクセスし、楽曲情報を取得できます。

「KENWOOD Music Info.」の詳細は<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/navi/> で型名を選んで「カーナビ連携マニュアル KENWOOD Music Info.」をご覧ください。

MapFanAssist

「MapFanAssist」でブックマークした地点やおでかけプランなど一部の機能をサーバーを介して本機と連携することができます。

本機とMapFanサーバーは、スマートフォンを使ってBluetoothテザリング経由で接続します。

この機能は、お持ちのスマートフォンにてテザリング契約とKENWOOD MapFan Club会員登録が必要です。

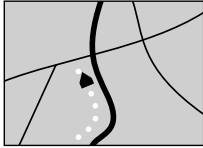
MapFanAssistの詳細は「ユーザーズガイド」をご覧ください。→「説明書について」(P.9)

自車位置の測位精度について

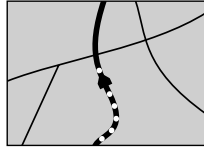
マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。

GPSや自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。



マップマッチングしていない場合



マップマッチングしている場合

本機は、GPSと自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

内蔵センサーによる測位とは

内蔵の車速パルスとジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

誤差について

本機は、GPSと自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしています。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

■ GPS測位不能によって生じる誤差について

- 1) 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPSによる測位ができません。
 - トンネルの中やビル内の駐車場
 - 2層構造の高速道路の下
 - 高層ビルなどの間
 - 密集した樹木の間
- 2) GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなるため、GPSによる測位ができません。
- 3) 3基以下のGPS衛星の電波しか受信できない場合は、GPSによる測位はできません。

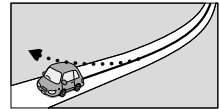
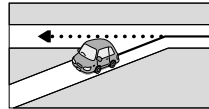
■ GPS衛星自体の原因により生じる誤差について

- 1) 電波を受信しているGPS衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 2) GPS衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

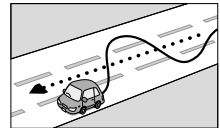
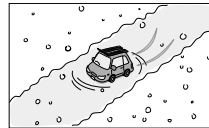
その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

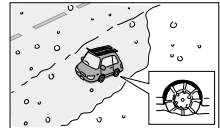
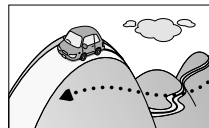
角度の小さいY字路を走った場合
直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後



砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合
蛇行運転をした場合



勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合
チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合



はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの便利な機能

AVの便利な機能

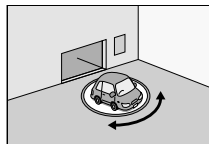
情報の見かた / 設定のしかた

ハンズフリー通話のしかた

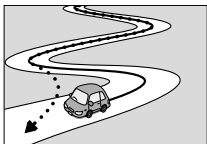
別売品の使いかた

付録

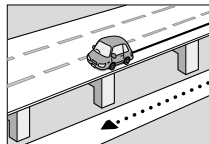
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



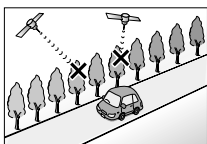
ヘアピンカーブが続いた場合



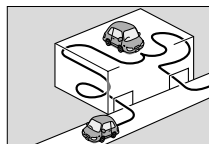
高速道路と側道などが隣接している場合



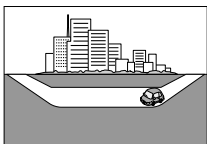
GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合



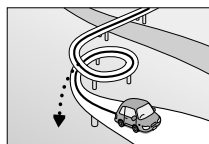
立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



地下駐車場やトンネルなど、GPS衛星による測位が長時間できない場合



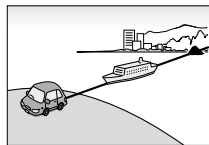
ループ橋などを走行した場合



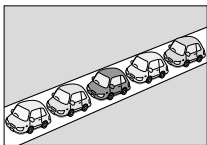
地図データにはない、新設道路を走行した場合



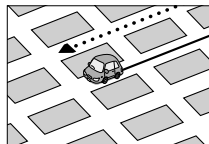
フェリーや車両運搬車などで移動した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



碁盤の目状の道路を走行した場合



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

低速時の測位精度について

車種によっては、時速数km程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数km程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

準天頂衛星について

従来のGPS衛星からの信号に加え、準天頂衛星からの信号を受信することで、山間部やビル街でも測位精度を向上することができます。

(準天頂衛星初号機「みちびき」が稼働中です。現時点では、受信できる時間帯に制限があります。また、季節によって時間帯は異なります。)

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称	記号	名称	記号	名称
	信号機		スキー		その他学校
	都道府県庁舎		キャンプ		保健所
	市特別区庁舎		遊園地		税務署
	町村指定都市区庁舎		動物園		発電所
	官庁公共施設		公園		裁判所
	警察		ホテル		灯台
	消防		スタジアム		ホール
	学校		スポーツ施設		スマートIC
	郵便局		植物園		その他の目的物
	病院		美術館		NTT
	デパート/スーパー		博物館		サーキット
	カー用品店		水族館		テニスコート
	IC		図書館		ディスカウントストア
	SA		テーマパーク		ビルアパート名称
	PA		城・天守閣		道の駅
	パーキング		展望タワー		ヘリポート
	工場		温泉		乗馬
	飛行場		山頂		体育館
	フェリー		自衛隊		牧場
	港		墓地		自動車学校
	料金所		ボウリング場		トンネル
	マリーナ		サッカー		船着場(観光船等)
	史跡名勝		競馬場ウインズ		野球場
	城跡		大学		展望台
	神社		短大		
	寺院		高専		
	教会		高校		
	海水浴場		中学校		
	ゴルフ場		小学校		

サービスエリア (SA)
パーキングエリア (PA)

記号	名称
	IC
	スマートIC
	SA
	PA
	JCT
	IC/JCT (併設)
	IC/SA (併設)
	IC/PA (併設)
	SA/JCT (併設)
	PA/JCT (併設)
	料金所
	スマートIC
	ガソリンスタンド
	レストラン
	スナック
	ショッピング
	ハイウェイオアシス
	インフォメーション
	休憩所
	ハイウェイ情報ターミナル
	ベビーコーナー
	ドッグラン
	障害者用トイレ
	ATM
	トイレ

はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた/
設定のしかた

ハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

付録



- 表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。

地図のデータベース について

本製品の地図の作成にあたって使用しているデータベースの詳細については、「ユーザーズガイド」をご覧ください。→「説明書について」(P.9)

■注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
- 収録するデータは、その正確性を保証するものではありません。データ内容の誤りに対して、取り替え、代金の返却はいたしかねます。
- 本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、当社は一切その責任を負いかねます。

iPodについて

本機でコントロールできるiPodについて

Made for

- iPod touch (7th generation)
 - iPod touch (6th generation)
 - iPhone SE (2nd generation)
 - iPhone 11
 - iPhone 11 Pro
 - iPhone 11 Pro Max
 - iPhone XS
 - iPhone XS Max
 - iPhone XR
 - iPhone X
 - iPhone 8
 - iPhone 8 Plus
 - iPhone SE
 - iPhone 7
 - iPhone 7 Plus
 - iPhone 6s
 - iPhone 6s Plus
 - iPhone 6
 - iPhone 6 Plus
 - iPhone 5s
- 音楽再生のみに対応します。
 - 本書では上記 iPod および iPhone をまとめて「iPod」と呼びます。
 - 本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。

Bluetoothについて

Bluetooth対応プロファイル

本機は、以下のプロファイルに対応しています。

- HFP（ハンズフリープロファイル）
ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- PBAP（フォンブックアクセスプロファイル）
電話帳のデータを vCard 形式で伝送するプロファイルです。
- A2DP*（高度オーディオ配信プロファイル）
オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。
* SCMS-T 対応
(SCMS-T とは A2DP に対応したオーディオプレーヤーなどでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。)
- AVRCP（オーディオ/ビデオリモート制御プロファイル）
オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SPP（シリアルポートプロファイル）
Bluetooth 機器を仮想シリアルポート化するプロファイルです。
- PAN（パーソナルエリアネットワークプロファイル）
小規模ネットワークを実現するためのプロファイルです。

Bluetooth標準規格Ver.4.1 準拠



- ・動作を確認した携帯電話機については以下の URL をご覧ください。
<https://www2.jvckenwood.com/cs/ce/bt/index.php?lang=japanese>
- ・Bluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。

対応コーデック

SBC/AAC

はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの
便利な機能

AV の便利な機能

情報の見かた /
設定のしかた

ハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

付録

メディアおよびファイルについて

ご使用上の注意事項

- USB 機器や SD カードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- 本機で再生するオーディオ/ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。
- 本機で再生できるオーディオ/ビデオファイルの詳細については「ユーザーズガイド」をご覧ください。→「説明書について」(P.9)

本機で再生できるディスクメディア

● ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明
DVD	DVDビデオ	○	—
	DVDオーディオ	×	—
	DVD-R	○	VRモード対応 (DVD-R/RWのみ) CPRM対応
	DVD-RW	○	
	DVD+R	○	
	DVD+RW	○	
	DVD+R DL (2層)	○	
	DVD-R DL (2層)	○	
DVD-RAM	×	—	
CD	音楽CD	○	8cmディスク非対応
	CD-ROM	○	—
	CD-R	○	バケットライト非対応
	CD-RW	○	
	DTS-CD	×	—
	ビデオCD、 スーパー ビデオCD	×	—
	フォトCD	×	—
	HDCD	△	通常の音楽CDの音質
CCCD	×	—	
その他	デュアル ディスク	×	—
	スーパー オーディオ CD	△	CD層のみ再生可能

○：再生できます △：一部のみ再生できます

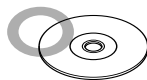
×：再生できません

再生できるディスクフォーマット

ISO 9660/Joliet/UDF

使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。



- 記録面（レーベル面の反対側）に着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。
- ファイナライズ処理を行っていないCD-R/RWおよびDVD-R/RWは再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。

そのほかにも、記録状態によっては再生できない場合があります。

- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

ディスク使用上のご注意

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽く拭き取ってください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に「バリ」がないことを確認してください。「バリ」がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなったり音飛びの原因になります。「バリ」があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、8cmCDアダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

DVDのリージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または2を含むもの）と「ALL」です。

DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

本機で再生できるSDカード

規格	SD/SDHC/SDXC ^[1]
最大容量	2GB(SD)/32GB(SDHC)/2TB(SDXC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT ^[2]

^[1]MMC(MultimediaCard)には対応していません。

^[2]この他のファイルシステム(NTFS等)には対応していません。

- SDスピードクラスはClass10まで対応しています。

SDカード使用上のご注意

- miniSDカード、microSDカードはSDカードアダプターを使用することで使用可能ですがすべてのカードの動作保証はしていません。
- ご使用の際には、必ずSDカードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
- 本機で使用できない場合は、ファイルシステムがFAT16、FAT32またはexFATであることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
- 本機はSD-Audioには対応していません。
- すべてのSDカードに対して、動作を保証するものではありません。
- SDカードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- SDカード内のデータは必ずバックアップをしてください。SDカードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できるUSB機器

規格	USB1.1/2.0 ^[3]
デバイスクラス	マスタストレージクラス(MSC device) ^[4]
最大消費電流	1A以下(USB接続時)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT ^[5]

^[3]USB3.0には対応していません。

^[4]使用するUSBデバイスがUSBマスタストレージクラスに対応しているかは、USBデバイスの販売メーカーにお問い合わせください。

^[5]この他のファイルシステムには対応していません。

USB機器使用上のご注意

- 接続したUSBデバイスは運転の支障とならないように設置してください。
- セキュリティ機能付きのUSBデバイスは使用できません。
- USB規格外のケーブルは動作保証できません。また、延長ケーブルの使用により正常に再生できない場合があります。
- USBデバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- すべてのUSBデバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USBデバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USBデバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できるオーディオ/ビデオフォーマット

コーデック		メディア				
		CD	DVD	USB	SD	
オーディオ ファイル	MP3	○	○	○	○	
	WMA	○	○	○	○	
	AAC	○	○	○	○	
	WAV	○	○	○	○	
	FLAC	○	○	○	○	
ビデオ ファイル	Vorbis	○	○	○	○	
	MPEG-4 Video	×	×	○	○	
	H.264/MPEG-4 AVC	×	×	○	○	
	WMV	×	×	○	○	

○：再生できます ×：再生できません。

ハイレゾ音源について

- 本機は、以下のハイレゾ音源ファイルの再生に対応しています。
 - ・ コーデック：FLAC/ WAV
 - サンプル周波数：96kHz、量子化ビット数：24bit
 - サンプル周波数：192kHz、量子化ビット数：24bit
- ハイレゾ再生をお楽しみ頂くには、接続される機器(スピーカー等)もハイレゾ再生可能な製品が必要となります。

ソフトウェア使用許諾 契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社JVCケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および/または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。

使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

【使用許諾契約書】

第1条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第3条第1項に定める例外を除き譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

第2条（使用権）

1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアの本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を含めたとに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの複製を行ってはならないものとします。また、指定PCへのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第3条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第6条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第8条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第10条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第11条（輸出規制）

1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第12条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりに契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社JVCケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社JVCケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public Licenseまたは Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。

当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス

<https://www.kenwood.com/gpl/j.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社JVCケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。

適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守したかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社JVCケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。

掲載場所は【情報・設定】－【システム】－【特別】の【オープンソースライセンス】です。

VICSについて

VICSサービスの問い合わせ

VICSサービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICS関連商品、VICS情報の受信エリアや内容の概略、地図表示の内容に関することはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することはVICSセンターへお問い合わせください。(ただし、地図表示の表示内容は除く)

<お問い合わせ先>

VICSセンター

電話番号

0570-00-8831

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ PHS、IP電話等からはご利用できません。

電話受付時間

9:30 ~ 17:45

(但し土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く)

FAX 受付時間 24時間

FAX 番号 (全国) 03-3562-1719

- VICSの最新情報について

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。

インターネット URL <http://www.vics.or.jp/>

VICSリンクの更新について

VICSセンターでは、レベル3の情報の収集と提供に、VICSリンク(主要交差点毎に道路を区切った単位)というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICSリンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。

この結果、新しいVICSリンクによる情報の提供が行われると、変更前のVICSリンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクに対しても変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。



- VICSリンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新についてはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応 F M受信機 (VICSデスクランブラーが組み込まれた F M受信機) を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができます。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応 F M受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 1. 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2. 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。2. 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。2. VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 330円 (税込み)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた/
設定のしかた

ハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

付録

- 本機器で提供している道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人道路交通情報通信システムセンター (VICSセンター) の技術が用いられています。

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● 共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	車両のヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	電源コードなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください。
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト、明るさ、視野角を調整してください。
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。
リアビューカメラに切り替わらない。	リアビューカメラが正しく接続されていない。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
	リアカメラ接続設定が“なし”になっている。	接続しているカメラを確認してリアカメラ接続設定を行ってください。 →「リアビューカメラの設定のしかた」(P.47)
音が出ない/音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。 → [バランス/フェーダー] (P.36)
音質が悪い (音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	スピーカーの配線を確認してください。
	スピーカーの配線が間違っている。	スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。
案内音声が出力されない。	フロントスピーカーに接続していない。	案内音声とハンズフリーの音声出力はフロントスピーカーのみです。スピーカーの接続を確認してください。
ハンズフリーの音声が出力されない。		
Bluetooth機器が接続できない。	ソフトアップデート等により接続機器の登録情報が更新された。	Bluetooth機器の登録をいったん削除して、再度登録し直してください。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

● 共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。 カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
暗証番号が違います。 もう一度入力してください。	正しい暗証番号を入力してください。暗証番号を思い出せない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。問題が解消されない場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシに接触したため保護回路が働いた可能性があります。取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
地デジアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	アンテナケーブルの配線がショートしています。配線を確認してください。
GPSアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
車速パルスが検出できません。 車速検出コード（桃）の接続先及び接続状態を確認してください。	取付説明書を参照して、車速検出コードの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
ステアリングリモコンキーの学習ができませんでした。	取付説明書を参照して、ステアリングリモコンの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
SDカードのフォーマットができませんでした。	SDカードが正しく入っているかを確認してください。他のSDカードを使用しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
DISCメカ通信エラー	JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	<ul style="list-style-type: none">● ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。● 探索条件を「一般」以外にしてください。

● VICS

メッセージ	対処
電波が弱いか周波数が違うため、VICS情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。またはVICS放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

● ETC

メッセージ	対処
ETCに異常が発生しました。 販売店にお問い合わせください。(04)	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC車載器との接続を確認してください。	接続が正しいことを確認しても、問題が解決されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCカードが挿入されていません。 ETCカードが挿入されていません。(01)	ETCカードを差し込みなおしてください。

はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた/
設定のしかた

ハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

付録

メッセージ	対処
ETCカードが読めません。 ETCカードが読めません。(02)、(03)、(05)	<ul style="list-style-type: none"> ● 差し込まれたカードが ETC カードかどうか確認してください。 ● カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。 ● カードの金属端子面をきれいに拭いてから差し込んでください。問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCがセットアップされていません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCをご利用できません。 ETCをご利用できません。(06)、(07)	ETCカードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
中断しました。	故障ではありませんのでもう一度操作してください。

● ETC2.0

メッセージ	対処
ETC2.0接続エラー	取付説明書を参照して、ETC2.0車載器の接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● カメラ

メッセージ	対処
専用カメラと通信できません。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、専用カメラとの接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
走行中は調整できません。	リアビューカメラのガイド線調整、および専用カメラのカメラ設定は、安全なところに停車した状態で行ってください。

● ドライブレコーダー

メッセージ	対処
ドライブレコーダーが接続されていません。	取付説明書を参照して、ドライブレコーダーの接続を確認してください。
ドライブレコーダーに異常があります。接続を確認してください。	接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
ドライブレコーダーに異常があります。ドライブレコーダーの取扱説明書をご確認ください。	ドライブレコーダーの取扱説明書を参照して、ドライブレコーダーの「本体初期設定」を実施してください。また、ドライブレコーダーの取り付け位置が変わっていないか確認してください。
ドライブレコーダーの手動録画のファイル数が上限に達したため、録画を中止しました。	必要なデータはパソコンなどにバックアップし、不要なデータはmicroSDカードから削除してください。
ドライブレコーダーのイベント記録のファイル数が上限に達したため、録画を中止しました。	
ドライブレコーダーのSDカードの空き容量不足のため、録画を中止しました。	
ドライブレコーダーの録画を中止しました。	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラの接続に異常があります。カメラの接続をご確認ください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。 ● 何らかの不具合により録画ができなくなっています。JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
ドライブレコーダーが高温になったため、安全のため電源を切りました。	温度異常より、電源がオフになっています。通常の温度に戻ると自動で復帰し、使用できるようになります。

メッセージ	対処
ドライブレコーダーの静止画撮影を中止しました。	静止画撮影ができませんでした。何度か本機の「静止画」にタッチしても撮影できない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
ドライブレコーダーの静止画記録ファイル数が上限に達したため、静止画撮影を中止しました。	必要なデータはパソコンなどにバックアップして、不要なデータはmicroSDカードから削除してください。
ドライブレコーダーのSDカードの交換推奨時期です。	ドライブレコーダーに挿入しているmicroSDカードの寿命が近くなるとお知らせします。挿入しているmicroSDカードに録画できなくなる前にmicroSDカードを交換してください。ドライブレコーダーに付属のmicroSDカードおよび別売のケンウッド製microSDカード使用時のみ有効になります。別売のmicroSDカードは、 https://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/option のSDカードをご覧ください。
SDカードアクセスエラーのため削除できませんでした。SDカードを確認してください。	microSDカード内のデータを削除できませんでした。microSDカードが正しく挿入されているか確認してください。それでもファイルを削除できない場合は、microSDカードを初期化してください。
リアドライブレコーダーが接続されていません。	取付説明書を参照して、DRV-R530の接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。リアドライブレコーダーを接続しない場合は、リアドライブレコーダー接続を“OFF”に設定してください。
リアドライブレコーダーに異常があります。接続を確認してください。	取付説明書を参照して、DRV-R530の接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
リアドライブレコーダーの手动録画のファイル数が上限に達したため、録画を中止しました。	必要なデータはパソコンなどにバックアップし、不要なデータはmicroSDカードから削除してください。
リアドライブレコーダーのイベント記録のファイル数が上限に達したため、録画を中止しました。	
リアドライブレコーダーのSDカードの空き容量不足のため、録画を中止しました。	

● AV (共通)

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオ/ビデオファイルかどうかを確認してください。
走行中は音声のみお楽しみください。	走行中は映像を見ることができません。
音声再生できません。	音声再生できないビデオファイルです。
ファイルが再生できません。	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。

● AV(DISC)

メッセージ	対処
ディスクが読めません。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。再生可能なディスクを挿入してください。
再生できないリージョンコードのディスクです。	ディスクのリージョンコードを確認してください。リージョンコード「2」(または2を含むもの)と「ALL」のディスクが再生できます。

はじめに

基本的な使いかた


ナビゲーションの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた/
設定のしかたハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

付録

メッセージ	対処
ディスクがローディングできません。 / ディスクがイジェクトできません。	強制イジェクト(フロントパネルの ) (オープンキー) をメッセージが表示するまで押し、 はい をタッチする。) を実行してください。または、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
録音可能なアルバム数の上限を超えています。	録音できるアルバムは最大999枚までです。 不要なアルバムを削除してから録音してください。
録音を続行できないため、録音を中断しました。	再度録音しなおしてください。
空き容量不足のため、これ以上録音できません。	不要なファイルを削除するか、空き容量の大きいSDカードを使用してください。

● AV(内蔵メモリ)

メッセージ	対処
録音データを移動できませんでした。	SDカードが正しく入っているかを確認してください。他のSDカードを使用しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
SDカードの空き容量不足のため、録音データの移動ができませんでした。 SDカードを確認してください。	不要な楽曲またはアルバムを削除してから、SDカードへの移動を行ってください。
移動可能なアルバム数の上限を超えています。	移動後のSDカードの録音アルバム数が999以下になるように、不要なアルバムを削除してから移動してください。

● Bluetooth

メッセージ	対処
空き容量不足のため、これ以上登録できません。	本機に登録できる電話帳は 1000 件 (1 件最大 5 番号まで) までです。不要な電話帳の登録を削除してください。

● SMART USEN

メッセージ	対処
スマートフォンアプリケーションからエラーが通知されました。 スマートフォンを確認してください。	本機との接続を解除し、スマートフォン単体で「SMART USEN」アプリケーションがご利用できることを確認してください。
スマートフォンアプリケーションと通信できませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「SMART USEN」アプリケーションの起動を確認してください。 ● スマートフォンとの接続が正常かを確認してください。 ● Bluetooth 接続でご利用の場合は、デバイス切替 から、ご利用の機器に [オーディオ / アプリケーション連携] を設定してください。
連続再生が3時間を超えたため停止しました。	過度のバッテリー消耗、通信容量増加を防止するため、3時間以上の連続再生を制限しています。(アプリケーションの仕様) 再生ボタンをタッチするか、チャンネル選択をすることで引き続き再生できます。

● KENWOOD Music Info.

メッセージ	対処
アルバム情報はありません。	アルバム情報が登録されていない楽曲については、楽曲タイトル情報を取得できません。
サーバーに接続できません。	スマートフォンがインターネット接続できるところに移動し、再度操作してください。
アプリケーションと通信できませんでした。スマートフォンを確認してください。	「KENWOOD Music Info.」の起動を確認してください。スマートフォンとの接続が正常か確認してください。

● MapFanAssist

メッセージ	対処
MapFan会員IDまたはパスワードが違います。MapFan会員IDとパスワードをご確認の上、もう一度入力してください。	MapFan会員IDとパスワードをご確認の上、もう一度入力してください。
所定の回数を連続して誤って入力されたため、およそ30分間はログインできません。しばらくしてから再度ログインしてください。	MapFan会員IDとパスワードをご確認の上、30分経過後に再度ログイン操作を行ってください。
MapFan連携の通信エラーが発生しました。スポットブラウザ/目的地予約/おでかけプラン/マイカー位置表示を更新できませんでした。	ログアウト後、再度ログインしてください。その後、MapFan連携設定画面からデータ更新を行ってください。データ更新をしても、問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
MapFan連携の通信エラーが発生しました。MapFan連携サーバーで問題が発生しています。	しばらくしてから、MapFan連携設定画面からデータ更新を行ってください。何度かデータ更新をしても、問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
MapFan連携サーバーのメンテナンス中です。メンテナンス完了まで、スポットブラウザ/目的地予約/おでかけプラン/マイカー位置表示を更新できません。	
MapFan連携の通信エラーが発生しました。スポットブラウザ/目的地予約/おでかけプランを更新できませんでした。	
MapFan連携サーバーに接続できません。	スマートフォンがインターネット接続できるところに移動してください。
MapFan連携の通信エラーが発生しました。マイカー位置表示を更新できませんでした。	ログアウト後、再度ログインしてください。再度ログインしても、問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
入力したMapFan会員IDでは、MapFan連携を利用できません。MapFan連携の利用には、KENWOOD MapFan Clubへの入会が必要です。	KENWOOD MapFan Clubへの入会手続きを行い、MapFan会員IDを取得して入力してください。
MapFan連携サーバーで問題が発生しています。マイカー位置表示を更新できませんでした。	しばらくしてから、MapFan連携設定画面からデータ更新を行ってください。何度かデータ更新をしても、問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた/
設定のしかたハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

付録

特許権/著作権/商標など

「タウンページ」は、NTT 東日本および NTT 西日本の登録商標です。

Windows Media is a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Dolby Audio and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

DVD is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

Apple, iPhone, iPod, iPod touch, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group. 本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

SDXCロゴはSD-3C LLCの商標です。

MapFanはインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

Bluetooth® とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、株式会社JVCケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれ所有者に帰属します。

VICS、VICS WIDEは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

QRコードは（株）デンソーウェアの登録商標です。

「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

「マップクリップ」はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

「Android™」および「Androidロゴ™」、「Google Play™」はGoogle LLCの商標または登録商標です。

本製品には、株式会社ユビキタスが開発した高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社ユビキタスの商標です。

Copyright© 2018 Ubiquitous Corp. All rights reserved.



本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。



本ソフトウェアは、株式会社日立製作所の音声合成技術を使用しています。「Ruby Talk」は株式会社日立ソリューションズ・テクノロジーの登録商標です。



「ETC」、「ETC2.0」は一般社団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。

ITSスポットは国土交通省の登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のcompact Wnnを使用しています。compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2017 All Rights Reserved.

Gracenote 及び Gracenote ロゴとロゴタイプは、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

当社は日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にこのロゴを冠して推奨しています。

ロゴは登録商標です。



libFLAC
Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson
Copyright (C) 2011-2013 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.MPEGLA.COM)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO

PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)

libogg
Copyright (c) 2002. Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis
Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた/
設定のしかた

ハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

付録

主な仕様

● ナビゲーション部

測位衛星システム 受信衛星	GPS、QZSS(準天頂衛星)、SBAS
測位衛星システム 受信周波数帯	L1
VICS	FM多重(内蔵)、VICS-WIDE対応 /ITSスポット対応(別売)、高度化光/ 光ビーコン対応(別売)

● モニター部

画面サイズ	7V型ワイドVGA
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	1,152,000個800H×RGB×480V
画素配列	RGBストライプ配列
タッチパネル	抵抗膜式タッチパネル
使用光源(照明方式)	LED/バックライト方式

● オーディオ部

最大出力	50W×4
スピーカー インピーダンス	4～8Ω

● 入出力部

リアビューカメラ 専用映像入力	端子:専用8Pinコネクタ×1 (RCAに変換) 映像入力レベル:1Vp-p/75Ω
ドライブレコー ダー映像入力	端子:RCA×2 映像入力レベル:1Vp-p/75Ω
映像出力	端子:RCA×1 映像出力レベル:1Vp-p/75Ω

● 地上デジタルチューナー部

受信方式	地上デジタルテレビ放送方式 (日本)(ワンセグ対応)
受信チャンネル	UHF13～52ch

● チューナー部

FM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0MHz～99.0MHz (0.1MHz)
AM受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522kHz～1629kHz (9kHz)

● USB I/F部

対応USB	USB1.1/2.0 (High Speed)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT
最大供給電流	DC5V ≒ 1A

● SDカード部

対応SD	SD/SDHC/SDXC
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT

● DVD/CD部

信号方式	NTSC
対応ディスク	DVD-Video、DVD±R/±RW/±R DL、CD-DA、CD-R/RW、SACD(CD LAYER ONLY)
リージョン番号	2
サンプリング 周波数	44.1kHz/48kHz/96kHz
量子化ビット数	16bit/20bit/24bit(直線)

● 対応メディア

DVD-Video	DVD-R、DVD-RWはVRモード対応
CD-DA	8cmCD非対応
CD/DVD/ USB/SD 音声	MP3、WMA、AAC、WAV、FLAC、 Vorbis
USB/SD 映像	MPEG-4 Video、 H.264/MPEG-4 AVC、WMV

● 電源/寸法/重量

電源電圧	14.4V (10.5V～16V)
最大消費電流	15A
使用温度範囲	-10～+60℃
本体	外形寸法(幅×高さ×奥行): MDV-D708BTW 206mm×104mm×175mm MDV-D708BT 180mm×100mm×183mm
	埋込寸法(幅×高さ×奥行): 178mm×100mm×160mm 質量(重さ): :2.4kg
GPSアンテナ	外形寸法: 36mm×12.8mm×33mm
	ケーブル長:3.5m 質量(重さ):85g

● TVアンテナ

アンテナ形状	フィルム型
ケーブル長 (アンテナケーブル)	4.0m
アンテナ部 (エレメント外形寸法)	117.5mm×86mm
重量(重さ) (ケーブル含む)	約40g(1本あたり)

● Bluetooth部

対応プロファイル	HFP, PBAP, A2DP, AVRCP, SPP, PAN
対応コーデック	SBC/AAC
SCMS-T	対応

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

はじめに

基本的な使いかた

ナビゲーションの
便利な機能

AVの便利な機能

情報の見かた/
設定のしかた

ハンズフリー通話
のしかた

別売品の使いかた

付録

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書 この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間 お買い上げの日より3年、ただし走行距離が60,000kmまでです。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

- ホームページ
<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>
- JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話、PHSからは0570-010-114（ナビダイヤル）
IP電話などからは045-450-8950
（受付時間などは、裏表紙を参照してください。）

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(P.64)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理 この製品は持込修理とさせていただきます。
製品を修理のために、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスセンターにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機と一緒に持ち込まれるユニットなどがある場合は、ディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。

● 車両からの取り外し / 取り付けについて
修理をご依頼される場合は、製品を車両から取り外した状態でお買い上げの販売店またはJVCケンウッドサービスセンターにお持ちください。
なお、保証期間の内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外しまたは取り付けした場合の作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。）
技術料： 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代： 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

保証規定

1. お買い上げいただいた当社の特約販売店会社または当社指定の販売店（以下販売店会社という）が本保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名などの必要事項を記入、捺印することにより有効となります。
2. 販売会社、または当社の指定サービス工場（以下サービス工場という）で当社指定の車両にお取り付けした当社製品の標記商品に材料、または製造上の不具合が起きた場合、本保証書に示す期間と条件に従って無料修理すること（以下この無料修理を保証修理という）をお約束するものです。保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。なお、保証修理により取り外した不具合部品は、当社所有となります。
3. 保証修理期間はお取り付けした日から3年間とします。ただし、その期間内でも走行距離が60,000kmまでとします。
修理申し込み時、必要事項の記入および捺印された本保証書、もしくは同時購入が確認できない場合、保証期間中であっても修理代金はお客様のご負担となります。
4. 保証修理をお受けになる場合は、本保証書をご提示のうえ保証修理をお申し付けください。本保証書をご提示いただけない場合は、保証修理をお受けいたしかねます。
5. 次の場合には保証期間内でも有料になります。
 - (1) 本保証書のご提示のない場合。
 - (2) 本保証書に形名 / 製造番号の印字のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - (3) 本保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
 - (4) 使用上の誤り、結露や水濡れあるいは不当な改造、修理、加工による故障および損傷。（取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、責任を負いません。）
 - (5) 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
 - (6) お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障および損傷。
 - (7) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。
 - (8) 一般車載用途以外に使用された場合の故障および損傷。（例えば、業務用の長時間使用、船舶<船舶用製品を除く>、直流電源装置を用いた一般家庭での使用等）
 - (9) 製造番号の改変および、取り外した製品。
 - (10) 消耗部品（例えば、SDメモリーカード、乾電池、充電電池等）の交換。
 - (11) 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
 - (12) 予告なく変更や追加される、あるいは規格の異なる記録媒体、アプリケーション、コンテンツ、放送および電源電圧による不具合。（インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく休止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。）
6. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
7. 本保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

- ※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡します。
- ※ 本保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。
- ※ 保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
- ※ 本保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

形名／製造番号		※お買い上げ日	
		年 月 日	
		保証期間（お買い上げ日より）	
		本 体： 3 年 走行距離： 60,000km まで	
※お客様	お名前		
	ご住所 〒		
		電話番号 ()	
※お取引車両	車両型式		車台番号
	登録番号		取り付け時の走行距離 km
※販売店	店名・住所		
	電話番号 ()		

公開用

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状況で万が一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 無料修理の条件について、詳しくは本ページ裏側の「保証規定」をご覧ください。
- 修理は、本保証書を添えてお買い上げの販売店または、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

●商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00
土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

